

自序

念佛無間。禪天魔。眞言亡國。律國賊。法華一人得往生。どの妄言

吐散。皇を賤しめ。刑家を亂し。國俗を破り。法華一味の惡毒たる。豈そ

と欲して。眞高邪。慢に至らざるなき。日蓮宗徒の惡毒たる。豈そ

れ偶然ならんや。大に源因する所有て然るものなる事。此

大聖日蓮深秘傳に據て明なる者なり。此書は僧日長が奥書

にも云る如く。實に同宗にては秘中の秘録。密中の密書なる

が。今や神の直理の時至りて。予輩の手に洩來りしは。やがて

聖明の御代の光に依りて。妙法二狐の化の皮の顯る。始

にこそあらめと。甚悦しく思はる。まゝに。かく校訂して。世

に公にせる者なり。願はくば。此功德を以て。普く一切に及ぶ

に公にせる者なり。願はくば。此功德を以て。普く一切に及ぶ





し。我等と衆生と。共に正道を成せんことを。

明治廿又六年秋九月十五日豊前國中津の里なる古扇城の寓居よおゐて湯谷基守しるす

凡例

一此書ハ。予曩ニ。熊本ナル教友甲斐一彦氏ニ依テ。一本大聖日蓮  
深秘傳ヲ得タリシガ。去ル明治十八年三月中。更ニ東京小笠原書房ニテ發行セシ書大聖日蓮  
深秘傳ノ。我カ中津ノ書肆ニアリシヲ求メ見ルニ。訛謬脱字等頗ル多ク。且ツ間ニハ讀了シ難キ所モアルヲ以テ。予ガ持ル一本ト照シ見ルニ。双方裨益スル所多キガ故ニ。彼此校合シテ。全ク誤謬ト著キハ。憚リナク改訂シ。脱字ト思シキ所モ。遠慮ナク補入セシト雖モ。イカニ參酌シテモ。了解シ得ザル所。又語格ハ合ハザルモ。意ノ通スル所ナドハ。原ノマヽヲ存シテ改メ訂サズ。此ハ校者ガ。務メテ原書ノ改削ヲ欲セサルガ故ナリ。

一書中ナル分註ニ。基守云ト記シ。或ハ記サザルモ。上下ニ括



孤ヲ施シタルハ。讀者參考ノ便ヲ計リタル。校者ノ注意ナ  
リ。又同シ分註ト雖也。括弧ノナキハ。悉ク。原書ノ儘ノ分註  
ナリト知ルベシ。

一 每章ノ下ニ。章中ノ大意ヲ分註シタルモ。校者ノ婆心ニ出  
タルモノナリ。

校者識

大聖日蓮深秘傳

豊前中津 湯谷基守校訂

○降誕實記章(此章ハ宗祖降誕ノ實況ヲ述ブ)

抑房州長狹郡東條郷市川村小湊ノ浦。漁夫蓮次郎ト云モノ  
アリ。累代此浦ニ住シテ漁ヲ業トス。然ルニ蓮次郎一男二女  
アリ。姉ヲ長女ト名ク。容顏世ニ類ヒナシ。茲ニ近郷ノ穢民ニ。  
團五郎ト云少年アリテ。是又世ニ類ヒナキ美男子ナリ。長女  
不圖相見テ。機縁合シテ密通ス。父蓮次郎之ヲ憤リ。遂ニ長女  
ヲ勘氣ス。時ニ長女既ニ孕メリ。故ニ自ラ團五郎ニ嫁ス。月充  
テ 人皇八十五代後堀河院。貞應元年壬子二月十六日。(明治廿  
六年前ニ當ル)誕生マシケル。名ケテ善吉ト云。此兒後ニ高祖  
大聖人ト成玉フ。佛滅後二千一百七拾一年ニ當レリ。然ルニ



此小童。容顔又父ヨリモ勝レタリ。父母之ヲ愛ス。如珠玉。時ニ善吉大志アリ。故ニ獨リ兵法ヲ學ヒ玉フ。其才又衆ニ超タリ。然レモ事ノ應セサルヲ了知シ玉ヒテ。是ヨリ佛門ニ入テ名譽ヲ求メント。遂ニ穢民ノ家ヲ捨テ。母ノ縁ヲ尋テ漁家ノ種族ト名乗リ。八十六代四條院。天福元年癸巳五月十二日。十二歳ニシテ。全郡清澄寺道善坊ノ弟子トナリ。専ラ眞言密教ヲ學ビ玉フ。此時既ニ立教開宗ノ御志アリケリト云々。嗟高祖ノ大智ナル。穢民ノ家ヨリ出テ。終ニ一宗ノ高祖ト仰カレ玉フ。此智徳何人カ及レ之乎。可レ贊々々々。

○小童大智章

此章ハ宗祖幼ヨリ大志アリテ奇術ヲ獨孤ヨリ受クルコトヲ述ブ

高祖未ダ出家シ玉ハザル時。其父旃多羅ナルガ故ニ。旃多羅トハ類ノ居ノ肉割皮ノ業ヲ營ム者ノ名ナリ即チ吾國ノ穢多ノ類ナク云皮ヲ剝キ沓ヲ造ラシム。是レ其家職タル

ヲ以テナリ。然レモ善吉ハ。敢テ此業ヲ好ミ玉ハス。偶マ。手自ラ鼓ヲ張リ玉ヘハ。是ヲ打テ。軍ノ整ヲ成シ翫フ。ソノ翫戲衆ト異ナリ。或日同職集會ス。善吉發語曰。面々此業ニ馴ル。ガ故。是ヲ以テ穢ト思ハズ。所謂泥中ノ龜。泥ノ濁リヲ知ラサルガ如シ。愚ナル哉。夫レ沓ハ弓ニ造ルト雖モ。冠トナス可カラス。只人ノ足下ニツク。此事ヲ成スカ故ニ。諸人ニ輕賤セラレテ。平民ト交リヲナス能ハス。可憐々々。予ハ天下ノ主タラントヲ望ム。衆ト志ヲ共ニセスト。大言ス。衆其大志ヲ嘲リテ云。童ヤ天下ヲ望ムト。夫レ天下ハ。今鎌倉ニ將軍アリテ。是ヲ掌握シ玉フ。之ヲ亡サズンハ。汝チ大將タルヲ得ンヤ。其將軍ハ隨身數萬アリ。是ヲ伐ンコト甚タ難シ。然レハ汝大將タラント欲スレドモ。一時ニ及フベカラズト笑ヒケルヲ。善吉



日。愚ナル哉。々々。大將軍ヲ伐シテ。何ノ難キカ是レアラシク。衆云。如何シテ伐ツヤ。善吉云。烈風ノ時。風上ニ至リ。放火シ。其居館ヲ燒バ。將軍即チ退居セン。其退路ニ埋伏セシム。是ヲ伐バ數万ノ兵士アリトモ。イカデカ救フコト能ハシ。然レモ。是ハ唯伐ノミニシテ。天下ノ人ヲ歸服セシムルニ至ラズ。天下ノ人ニ歸セラレズンバ。事成就スルコトナシト傳聞ス。今ノ將軍ハ。流刑ノ身ヨリ。終ニ天下ノ將トナル。他ナシ。人和ヲ得レバナリ。吾レ當世ノ人氣ヲ見ルニ唯奇怪ヲ好マデ。正直ヲ尊バズ。此時ニ當テ。衆ヲ歸服セシムルニハ。奇術ニ若クハナシ。故ニ我レ常ニ是ヲ思惟ストノ玉フ。衆人其高才ヲ感スト云ヘリ。是レヨリ高祖。時々食ヲ以テ山野ニ行キ。狐窟ヲ見レバ是ヲ與ヘ施シ玉フテ。遂ニ彼兩狐ニ逢ヒ。是ヨリ妙術ヲ得ルニ至ル。

彼兩狐ハ。妙太即法太即是レナリ。高祖一生涯ノ間。常ニ奉仕供給シ。甚タ奇功アリ 是レニ依テ。名ヲ天下ニ舉ゲ玉フ。實ニ栴檀ハ二葉ヨリ香シト。宜ナル哉。高祖幼稚ヨリ如此大賢大聖ナル。誠ニ妙法弘通ノ法器ナルヲ。最モ尊ムベシ。

○發心入門章(此章ハ高祖諸宗ノ輕侮ナリテ諸宗無得道法華獨成傳ノ宗旨ヲ立ルコトヲ述ブ)

高祖十二歳。未タ御家ニ在セラレシ時。専ラ出家ノ御志願アラセ玉ヒテ。近郷近隣ノ諸宗諸山ニ至リ。入門センコトヲ望マレ候ヒシカドモ。諸宗ノ僧侶。出家ノ道理ヲ知ラズ。生所ノ賤シキヲ聞テ。是ヲ厭ヒ。是ヲ惡ミ。是ヲ弟子トスル者ナシ。然レドモ全ク父母共ニ穢民ニ非ス。母ハ正シキ漁家ノ女ナリ。然レドモ只父獨リ旃陀羅ナリ。而ルヲ諸人は是ヲ賤ミ。是ヲ穢トス。噫愚ナル哉。夫レ佛門ニ入ルキハ。同シ釋氏ニシテ。高卑ノ隔有ベカラズ。出家法ト云フハ。血脉ヲ以テ相續セズ。法



豚ヲ以テ相續ス。サレハ苗裔何<sup>ゾ</sup>撰バン。然ルヲ諸宗ノ僧侶  
 此理ヲ知ラザルガ故ニ。出家ヲ許サ、リキ  
 高祖法門口決云。穢民ノ類ヲ弟子ニ取<sup>ラ</sup>ハ。必ス國ニシテ  
 出家サスベカラス。同國ナルキハ。諸人生所ヲ知テ。輕蔑シ  
 テ信セズ。故ニ遠國ニ至リ出家サスベシ。然レモ他宗ハ仁  
 慈ナキ故ニ猥リニ是ヲ許サズ。吾宗ハ他宗ト異ナリ。仁慈  
 ヲ以テスルカ故ニ<sup>ス</sup>旃多羅ノ類ハ。猶以テ勸メテ出家ヲ遂  
 ケサスヘシ。然ルキハ。彌法恩ヲ知ルガ故ニ。吾宗ノ幸ヒナ  
 ルヲ多シ。深ク心得フヘキヲナリ。依テ後世ニ永ク傳テ。一  
 宗ノ摸範トスベシト云々。  
 茲ニ同國清澄寺道善坊ト云ハ。篤實仁慈ノ名。隱レナキ人ナ  
 レバ。母是ヲ聞キ。善吉ヲ誘テ登山シ。明ニ始終ヲ述テ願フ。善

吉側ヨリ申シテ云。江南ノ橘。江北ニ植レハ枳トナルト聞ケ  
 リ。今吾父旃多羅タリト雖モ。母ハ正シク漁家ノ女ノミ。何ッ  
 穢ト云ヘキカアラント云ケレバ。道善坊是ヲ聞テ云。童<sup>呼</sup>童ノ  
 言<sup>フ</sup>處理アリ。吾何ソ其生所ノ卑キヲ惡マンヤト。遂ニ師弟ノ  
 約ヲナシ。善吉ヲ改メテ善日丸ト號<sup>ス</sup>。干時天福元年癸巳五月  
 友ノ門侶。動<sup>カ</sup>モスレバ高祖ノ生ノ賤キヲ嘲ル。爰ニ於テ高祖  
 初メテ大誓願ヲ立テ云。我卑賤ヨリ出タルヲ以テ。諸宗ノ法  
 師愚俗ニ至ルマテ。是ヲ輕蔑シテ止ズ。出家ヲ遂ルニ至リテ  
 モ。猶是ヲ拒ム。此遺恨不少。吾<sup>レ</sup>出家シテ報酬ヲナサント。延應  
 元年己亥十月十八日。十八歳ニシテ出家シ。名ヲ是性ト改メ。  
 字ヲ蓮長ト呼<sup>フ</sup>。蓮長ノ二字ハ。即祖父ト母トノ名頭  
 眼ヲ論釋ニ肆<sup>ス</sup>シテ。未曾有ノ一宗ヲ開ク。諸宗諸法ヲ破斥シ



テ天下ニ一宗タラント。大願ヲ起シ玉ヒケルニ。无量義經ニ至リ。未顯眞實ノ文ヲ見玉ヒ。是ヲ據トシテ。是ヨリ以前ノ經ハ方便ニシテ。無得道ノ經ト判シ玉フ。又妙法蓮華經ヲ閱シ玉ヒ。豁然トシテ。此經ニ心目ヲ止メ玉フ。其所以如何トナレバ。夫レ蓮花ノ徳タル清水ノ中ニ生セス。泥土惡水ノ中ニ生シテ。香色又諸花ニ超タリ。此ヲ以テ。一リ蓮華經ヲ採取テ。此ノ一宗ヲ開闢シ玉フ。此一義。高祖自ヲ御身上ニ表スル深意ナリト。我等エノ玉ヒケルヲ有キ。經文幸ヒ大乘無上ノ妙典ナリ。何人カ之ヲ尊ハサランヤ。依テ一宗ヲ立テ。自ラ法華宗ト名乗リ。諸宗無得道。法華一人成佛ト。公言シ玉ヒ。他宗他法ヲ拆伏シ玉フ。前ニ輕蔑セラレテ。御憤リアルニ依テナリ。只恨ミナクシテ。他ヲ誹リ玉フニ非ス。高祖ノ他宗ヲ破拆シ玉フ所以ハ御憤アル故也。此本ヲ知ラサレハ。他ヲ破ス

ルノ意。解シ難シ。是レ尊虛ヲ不知也。故ニ不憚不恐。他宗ヲ誹謗スベシ。是レ高祖ノ敵ナルガ故ナリ。吾門ノ輩。永ク之ヲ摸範トスヘシ。

○大孝德行章(此章ハ宗祖父母ノ名ヲ取テ日蓮ト改名シタルヲナ述フ)

外典ニ曰。身ヲ立道ヲ行ヒ。名ヲ後世ニ舉テ。父母ノ名ヲ顯ス。孝ノ終リト教ヘタリ。高祖ノ如キハ。實ニ世ノ大孝子ナリ。其故ハ。御身旃多羅ノ家ヨリ出テ。一宗ノ祖トナリ。道ハ大乘ノ道ヲ行ヒ。天下ノ父師ト仰カレ玉ヒ。名ハ後世ニ舉テ。朽ルコトナク。賤シキ父母ニモ。自ラ證ヲシテ旃多羅タルコトヲ隱シテ。世ノ嘲リヲ防ク。其孝他ニ比スヘカラズ。抑モ母ノ賢家ハ正シク市川村ノ漁父ナリ。然レドモ團五郎ニ嫁スル故ニ。世人母共ニ旃多羅ナリト思ヘリ。是レ高祖ノ不忍所ナリ。且



祖父ヲ蓮次郎ト號スルコト。古ヨリ其家ノ邊ニ池アリ。古來  
 蓮多キヲ以テ。蓮花ノ潭ト云ヒ習ハセルナリ。此池ノ邊ニア  
 ル家古キガ故ニ。代々蓮ノ字ヲ名トセリ。時ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。  
蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。故ニ蓮花ノ人ニ蓮花ノ潭ト云フ。  
 ト名クルコトハ。蓮次郎ノ長女ナルガ故ナリト高祖ノ御物語  
 アリケリ。此故ニ高祖ハ祖父ト母トノ頭字ヲ取テ蓮長ト名  
 乘リ玉フ。是レ祖父母ノ恩ヲ忘レ玉ハザルノ御意ナリ。又父  
 祖五郎事ハ。入道シテ妙日ト號シ。母長女ハ尾トナリ妙蓮ト  
 號ス。蓮ハ妙日ノ名ニ依リテナリ。故ニ蓮長ト號ス。蓮ハ妙日ノ名ニ依リテナリ。故ニ蓮長ト號ス。  
 取テ日蓮ト名乗リ玉フ。父母家ニアリテハ。人ニ輕シメラル  
 ハト難ク。今高祖ノ名トナレバ。誰カ日蓮ノ二字ヲ穢レリト  
 云ニキ。是レ孝ノ至ナリ。夫レ父母家ニアリテ奉給スルハ。誠

ニ是レ小孝ナリ。出家シテ。未來永劫ヲ助タルハ。實ニ大孝ナ  
 リ。阿々高祖ノ徳義大ナル哉。

○詠歌口傳章(此章ハ立教ノ本旨ニ達ス)

或時高祖。御親族ノ方ヘ参ラセラレシ。御親證ニ云。此度道善  
 勤ニ助ケラレ参ラセテ。鎌倉ニ行キ候也。爾ノ身再會レ難ク  
 候程ニ。秘種ノ事ナレドモ。少々書記シ參セ候。兼ニ此佛像ハ。  
 田蓮常ニ懷中ニ奉リシ秘佛ニテ候得共。形身ニ參セ候。他見  
 不可許候也。

歌

佛 雨のちにはみづる候なる。たふとさは。ふかく心に。  
佛 雨のちにはみづる候なる。たふとさは。ふかく心に。



祖父ヲ蓮次郎ト號スルコト。古ヨリ其家ノ邊ニ池アリ。古來  
蓮多キヲ以テ。蓮花ノ潭ト云ヒ習ハセルナリ。此池ノ邊ニア  
ル家古キガ故ニ。代々蓮ノ字ヲ名トセリ。時ニ遠國ノ人云蓮花潭トハ高祖降誕  
蓮華ノ潭ト云ク。或ハ高祖手自ラ蓮花ヲ植ヘ玉フ。故ニ蓮華ノ池ト云ナドハ。皆是レ高祖ノ大徳  
故。世ノ人ソレ附會シテ。奇談ヲナセリ。噫是方便ノ一助ナリ。後世此説ヲ以テ正義トスヘシ。母ヲ長女  
ト名クルコトハ。蓮次郎ノ長女ナルガ故ナリト。高祖ノ御物語  
アリケリ。此故ニ高祖ハ祖父ト母トノ頭字ヲ取テ蓮長ト名  
乘リ玉フ。是レ祖父母ノ恩ヲ忘レ玉ハザルノ御意ナリ。又父  
團五郎事ハ。入道シテ妙日ト號シ。母長女ハ尼トナリ妙蓮ト  
號ス。蓮ハ即チ父ノ  
名ニ依ルナリ高祖長ク父母ノ恩ヲ謝センガ爲ニ。二親ノ名ヲ  
取テ日蓮ト名乘リ玉フ。父母家ニアリテハ。人ニ輕シメラル  
ト雖モ。今高祖ノ名トナレバ。誰カ日蓮ノ二字ヲ穢レリト  
センヤ。是レ孝ノ至ナリ。夫レ父母家ニアリテ奉給スルハ。誠

ニ是レ小孝ナリ。出家シテ。未來永劫ヲ助クルハ。實ニ大孝ナ  
リ。吁々高祖ノ徳義大ナル哉。

○詠歌口傳章(此章ハ立教ノ本旨  
ヲ詠歌ニ述フル)

或時高祖。御親族ノ方へ參ラセラレシ。御親諭ニ云。此度道善  
坊ニ助ケラレ參ラセテ。鎌倉ニ行キ候也。露ノ身再會シ難ク  
候程ニ。秘極ノ事ナレドモ。少々書記シ參セ候。並ニ此佛像ハ。  
日蓮常ニ懷中ニ奉リシ秘佛ニテ候得共。形身ニ參セ候。他見  
不可許候也。

歌

阿彌あめつちに。みつるほとなる。たふとさは。ふ佛かく心に。  
佛つみませせ君。



此歌ノ心ハ。經ニテ御考ヘアラセ玉フヘク候。日蓮一大事ノ口傳ニ候。經ニ云。深ク心ニ念佛スル者ハ。成佛スルヲ疑ナシ。但シ假ノ名字ハ衆生ヲ引導ノ方便ナリト説玉ヒ候。是レ法華八卷二十八品ノ極意。經中第一ノ口傳ニテ候也。他宗ノ如ク。口ニ顯シテ念佛スレバ。全ク無間地獄ノ業ニテ候。經ニ深ク心ニ念佛スル者ト説玉ヒ候ヘハ。吾宗ニテハ心中ニ深ク念佛スルヲ本トス。題目トハ是レ念佛ノ假名ナリ。是ヲ知リテ稱レハ。題目ニ自ラ念佛ノ利益コモルカ故。假ノ名號ナレバ現當ノ利益疑ヒナシ。經ニ顯密ノ教アリ。吾意密ニ口傳シ候也。此事ハ。ソヨトバカリモ。人ニ語り玉フベカラズ候。可レ秘々々。穴賢。

此御親諭ハ。今小湊誕生寺ニ有ナリ。因記ス。高祖五首ノ秘歌

口傳。

怠らす。假の御名をば。唱ふべし。花よりころは。實は結なれ。是ハ。深心念佛假名引導ノ心ヲ。ヨミ玉ヘルナリ。

天地に。満る程なる。尊さは。深く心に。つゝみませ君。

親族ノ許ヘ贈リ玉ヘル御消息ニ書キ載セ玉フ。六字名號ノ折句ノ歌ナリ。

身延山。峯の阿彌陀は。秘し佛。ゆめく人。に。顯すな秘事。

奥ノ誦經堂ヲ營ミ玉ヒケル時。讀ミ玉ヒケル御歌ナリ。今ノ奥院ト云ハ是ナリ。

阿彌陀とは。我身延なる。佛なり。余所の佛へ。人な詣てる。

二十箇條無戒ノ中ニ乗セ玉フ御歌。

南無に程の報阿いの罪彌。有陀とても。身延へ參れ。助け玉ふる。



奥堂ノ額ニ。アケ玉ヲ御歌ナリ。是亦六字折句ナリ。  
右ハ是。當宗五首ノ秘歌ト申ス所也。他門ニ顯スベカラズ。門  
侶ト雖<sub>凡</sub>。法門皆傳ノ以前ハ。是ヲ授クベカラス。秘密。

○法華名義章（此章ハ法華テア一  
宗名義ノ事ヲ述フ）

高祖曰。夫レ大乘無上ノ妙典妙法蓮華經ハ。三世諸佛ノ秘密  
藏ナリ。故ニ是ヲ信シ。是ヲ讀誦スルモノハ。終ニ成佛ノ緣ナ  
ルヲ疑ナシ。是レ如來ノ金言也。抑法華ト云フ名目ハ。我門ノ  
所立。秘密ノ深義ヲ以テ云トキハ。法華トハ即チ法ノ花ナリ。  
花ハ必ス途ニ實ヲ結フ。實トハ即コレ眞實也。諺云。花ハ根ニ  
歸ルト云ハ。法花ハ念佛ニ歸スルト云義ナリ。故ニ世尊。法華  
八軸ノ秘密方便門ヲ開テ。眞實ノ相ヲ示ストハ。說玉フ。經ニ  
曰。心ニ念佛スルヲ以テ。皆成佛スルト云コト疑ナシ。十方佛

土ノ中。唯三乘ノ法門ノミ有テ。無二亦無三。佛ノ方便ノ說ヲ  
除ク。但シ假名ノ字ヲ以テ衆生ヲ引導ス。唯此一事ノミ實ニ  
シテ。餘ノ二ハ即チ非眞ト說玉フ。是レ我門所立ノ根本ナリ。  
一宗名義ノ出ル所ナリ。又深密ノ奥義ナリ。經ニ云。但假ノ名  
字ト說玉ヘハ。何ヲ唱ルモ。心ニ口傳ノ名字ヲ忘レザレバ。利  
益アレドモ。題ハ一部ノ總ナルカ故。南無妙法蓮華經ト唱ヘ  
シムルナリ。此ヲいんがせ忽ニ思フヘカラズ。又他宗ニ語ルヘカラズ。  
未嘗有ノ秘說。希有最勝ノ唱號ナリ。吾宗秘極ノ相傳ナリ。假  
令一院ノ住僧タリ<sub>凡</sub>。密旨ノ法門。口傳ノ法器ニアラスンバ。  
敢テ許スヘカラザル也。秘スベシ。

○邪神邪佛章（此章ハ法華勸請ニ非サル神佛  
ハ皆邪神邪佛タルヲ述フ）

夫レ以ルニ。八宗九宗。共ニ是レ愚ナラザルハ無シ。教皆ナ邪ナ



ラザルハ無シ。其中ニ。吾宗獨リ明ナルコト。砂ノ中ノ金。星ノ中ノ月ノ如シ。然レドモ。其宗ニ己ガ信スル所ヲ以テ尊ト思フベシ。之レ愚ノ至ナリ。今吾宗ハ。表ニ念佛ヲ破シテ。奥ニ彌陀ヲ尊ム。然レドモ彌陀經ニ說ク所ノ彌陀ニ非ス。法華ニ說ク所ノ彌陀ナリ。念佛モ亦然リ。法華經ニ依テ稱スレハ無上無邊ノ功德アリ。然レドモ。茲ニ口傳アリ。名號ノ心ヲ不知シテ稱スレバ。无間地獄ノ業因トナルナリ。喻ハ人參附子ハ良藥ナリト雖モ。用ユル方ヲ知スシテ服スレバ。却テ害ヲナスガ如シ。六字ノ名號ハ。三世諸佛ノ功德ノ寶。釋尊出世ノ眞ノ本懷タルコトハ。經文上ニ明カナレドモ。猥リニ數ヲ唱フレバヨシト思フ。故ニ邪法トナル。神明ヲ拜スルモ亦同シ。天照。八幡。春日。熊野等。實ニ是外道ノ邪神ナリ。然ルニ吾宗門ニ御

請スルキハ。變シテ善神トナルガ如シ。故ニ同佛ト雖モ。法華ニアルヲ眞佛トシ。他宗ニアルヲ邪佛ト知ルベシ。神モ亦然リ。同神ト雖モ。法華ニ勸請スルヲ善神トシ。他宗。或ハ唯一ニ祭ルヲ邪神トス。此故ニ。他宗ノ佛ヲ拜シ。他ノ神社ヲ拜スルモノハ。永ク无間ノ業ヲ結ベリ。敢テ尊敬スヘカラズ。ト御教戒マシタケル。

○廢邪立正章

此章ハ神祠佛宇ヲ破却シテ已ガ宗意ヲ貫クヘキコトヲ述フ

高祖流刑ノ御身タリシキ。消息シテ。清澄寺ノ道善坊ヲ訊問シ玉ヘリ。道善ソノ誠意ヲ感シ。副元帥平時宗公ニ歎願シテ。流刑ノ赦牒ヲ申乞フ。其時日朗使者タリ。即チ之ヲ持シテ。長途ヲ厭ハス。晝夜ヲ不捨。三月八日。佐州ニ着シ。高祖ニ。此旨ヲ申シケルニ。高祖蘇生ノ思ヲナシテ。歡喜限リナシ。遠ク師坊



ノ方ニ向ヒテ。三拜九拜シテ。其仁慈ヲ謝シ玉フ。傳へ聞ク。古  
 來ヨリ此島ノ流人免助アルヲ無シ。念フニ今吾之ヲ赦セラ  
 ル、ハ。是レ師ノ恩賜ナリト雖モ。且ハ妙法弘通ノ前表カト。  
 隨喜身ニ流偏シテ。再ヒ大志ヲ企テ玉ヒ。阿佛房日興等ニ命  
 シテ。此度本間氏本間重連父子。高祖ト數度密計ヲ謀ル。内頼ル王家ヲ恨ムル心アルヲ以テ。高祖ト  
 志ヲ同フシ故シ玉フナリ。如レ是斷金ノ同志ナルヲ以テ兄弟佐渡ニ移リテ。又高祖  
 ト秘密ヲ廻ラス。呼子祖  
 ノ大忠臣ナリト云クト計リ。火工ノ具ヲ用ヒテ。先年鎌倉ニテ行ヒ玉  
 ヒシ如クニシテ。此地ノ堂社ヲ毀ント。先ヅ空海ガ勸請ノ社  
 廟。或ハ唯一ノ神社。或ハ淨家ノ堂宇等。都テ七ヶ所坊四ヲ。今時  
 社三ヲ。今時  
 衆民ノ尊崇スル所ヲ選ンテ。深夜ニ至リ。密ニ件ノ一ヲ謀テ。  
 十三日首途かきいシ玉ヒケルニ。即日堂社悉ク燒亡ス。高祖途ニ居  
 テ。此餘煙ヲ見玉ヒ。快然ト云呼。妙法弘通ノ妨ナキ知ルヘ  
 キ也。然レドモ他宗ノ賊。之ヲ吾等ノ所爲ト知ラハ。又々憤逆

シテ怨テ何事カナサン。可秘可秘。然レドモ莠草ヲ耘ラズン  
 バ。田苗實ノラズ。餘宗ヲ廢セズンヤ。妙法弘マラズ。眞宗念佛  
 等ノ。邪宗ノ堂坊ヲ毀テ。八幡春日等ノ。邪神ノ宮祠ヲ燒クハ。  
 正シク世尊へノ忠誠。衆生濟度ノ善巧ナリト御教諭マシク  
 ケリ。高祖ノ深意ヲ知ラザレバ。一應不可ナルニ似タリト雖  
 モ。祖ハ是薩埵ノ應現ナリ。是非ハ凡夫ノ計リ知ル處ニ非ス。  
 唯々仰クヘキノミ。然レドモ。未學未熟ノ儕ハ。タトヒ我門侶  
 タリト雖モ。堅ク秘シテ語ルヘカラス。何ソ況ンヤ。其餘ニ於  
 テヲヤ。此條殊ニ秘スヘキナリト。嚴誠マシクケリ。

○福田譬喻章此章ハ法華ニ非サル君父ハ殺害スル  
 モ苦シカラズト云ヘル譬喩ヲ述フ

或時。副元帥平頼綱ノ臣信清。高祖ニ申シテ云。念佛ハ無間ノ  
 業。禪法ハ天魔ノ法。律宗ハ國ノ姦賊。眞言ハ亡國ノ邪教ナル



故ニ。之ヲ信スル儕ヲ殺害スルハ。殺生ニ非スシテ。無上ノ善根ナリト仰セ候義。道理實ニ至極セリト存候。又諸宗ノ堂社ヲ毀テ。神明ノ神社ヲ毀テハ。是又無類ノ大功德ナリト。御教訓アレドモ。未タ悉ク其意ヲ得ス候。餘宗ハ皆正法ニ非ス。信シテ益ナシ。誹リテ咎ナキトハ。常々御教訓ニテ。オロ／＼覺悟シ候。然レドモ。法花ヲ信セザルモノハ。君父タリトモ。殺害シテ大功德ナリト申ス事。不審ナキニ非スト。尋テラレケル時。高祖諭シテ云ク。夫孔子ハ我徒ニ非ザレハ。鼓ヲ鳴シテ之ヲ責テ可ナリト云キ。是レ己ノ弟子ニアラザルト云テ。惡ミタルヲナリ。今我云フ處ハ其レト異ナリ。諭ヘハ農夫ノ耕ニ。四傍ノ莠ヲ耘カ如シ。是レ殺生ニ非ス。唯福田ノ苗ヲ助ルナリ。今他宗ヲ信スル儕ヲ。或ハ誅シ。或ハ讒シ。或ハ咒咀シ。又他宗ノ堂

宇ヲ。或ハ毀テ。或ハ火災ルモ。只妙法ノ苗ヲ宣布センガ爲ナリ。爾レバ之ニ過タル大善アルベカラス。予ハ是レ如來ノ使ナリト云。又我言ヲ聞テ怪ムコト勿レ。妙法弘道ノ大智計ナリ。故ニ經ニ身命ヲ不惜ト説レタリト。常々仰セラレ侍リケリ。是當宗當大事ノ口訣ナリ。御在世ノ時モ聊カ我等ノ義ヲ洩シ、者アリシ故ニ。流刑ニモ逢セ玉ヒ。他宗ノ非難ヲモ受ケ玉ヘリ。故ニ我同門同學ノ法侶。搆ヘテ眞ノ秘事ヲ。他ニ語ルヘカラサルモノ也

○教誡王臣章

此章ハ法華ヲ信セズ宗祖ヲ尊ハザル天子將軍ハ惡逆無道ノ罪人ナルヲ述ブ

高祖。或時仰セラレ候キ。我ハ是レ如來ノ使ナリ。故ニ梵天。帝釋。日月星辰等。常ニ來テ侍座シ給仕ス。故ニ天照八幡等ノ小神モ。我前ニ來テ低頭禮拜シテ。恭敬尊崇セリ。然レドモ。凡夫ハ



之ヲ見ルヘカラズ。我ハ是レ日本ノ柱ナリ。魂ナリ。若シ我ヲ輕蔑セバ。此ノ國須臾モ保持スルコトヲ得ズ。然ルニ今時ノ〇〇(字不明故ニ〇チ) (基守云予所持ノ本ニハ天子ト有ガ) 將軍ハ。皆是レ無眼無耳ノ蝗蟲置ク以下同シ (故ニ以下〇ノ所皆天子ノ字ヲ以補フ) ナル故ニ。我ヲ尊重スルコトヲ知ラズ。然レトモ徒ラニ默スヘキニ非ス。サレバ聊カ此意ヲ含テ。開國抄。安國論等ニ述作セシカドモ。心事十ガ一モ顯サ、ル也。今竊ニ真ノ理ヲ云ハ、。天子將軍等ハ。共ニ是レ叛逆无道ノ大罪人ナリ。其故ハ如何トナレバ。天照八幡等ノ小神ヲ崇メテ。大乘ノ妙典法花ヲ信セズ。春日大神等ノ邪神ヲ信ジテ。此日蓮ガ真說ヲ貴マス。又將軍ハ。衆民ノ刑ヲ計フ不淨ノ職ニ居乍ラ。此日蓮ヲ敬スルコトヲ知ラス。剩ヘ他宗ヲ信セリ。嗚呼其罪幾何ソヤ。夫レ此國ノ王トナリ。將軍トナリ。禪宗。念佛。真言等ノ邪宗ヲ信シテ。吾

ヲ崇メザランモノハ。必ス天下ヲ亡シ。國ヲ失ヒ。其身ヲ失ハシテ疑ナシ。如此ノ王臣ハ。現世ニテハ厄難ヲ受ケ。當來ニハ阿鼻地獄ニ墮センコト。雨ノ空ヨリ降ルガ如シ。是等ノ惡心ヲ征伐シテ。妙法ヲ弘ムルヲ。天下ノ善者ト申スナリ。如是スル人ヲ。梵天。帝釋。四天。八大竜王等。加護シ玉フ事。疑ナキモノナリ。依テ法花ニ。アラザルモノヲ。或ハ殺シ。或ハ害スルモノヲ。諸天善神。殊ニ喜ヒ玉フナリ。設令天子將軍ト雖モ。法花ヲ信セザルモノハ。天ノ助ケナシ。天ノ助ケナキハ。天ノ仇ナリ。故ニ常ニ云。此宗門ニ非サルモノヲハ。殺害スルモノヲ。真ノ法花ノ行者ト云ベシ。余宗余門ヲ破シ。他ノ神社佛閣ナトヲ毀ツヲ以テ。妙法弘通ノ真ノ侍者。實ノ信者トハ申也。トノ玉ヘリ。



○破邪教正章

(此章ハ自法ナ成立セシムルニハ他ノ勝法ナ巧ニ極スヘキコトヲ述ブ)

高祖御物語曰。法然ガ著シタル。選擇集ナルモノハ。明惠摧邪論ヲ作テ。大ニ之ヲ破拆セリ。是レ吾門ノ幸ナリ。然レモ明惠ハ。短才ナルガ故ニ。其破拆スルコト甚タ弱シ。故ニ我マタ守護國家論ヲ作テ。法然カ邪教ヲ拆スト雖モ。彼ガ徒。聖光親然等アリテ。其教法ヲ弘メンガ故ニ。其根深シ。殊ニ釋尊モ。念佛ヲ末世ノ要法ト説キ玉ヒシ者ナレハ。念佛ノ盛ナルコト今已ニ時ヲ得タリ。故ニ能々方便ヲ廻サズンバ。吾宗イカデカ。弘通スルコトヲ得ンヤ。故ニ能ク巧ミニ方便シテ。人ヲ引入シ。念佛無間等ノ言ヲ高ク稱ヘテ。彼等ノ弘通ヲ妨クヘシ。是レ吾宗第一ノ勤ナリ。疎ニスヘカラズ。經ニ念佛誹謗ヲ深ク戒メ玉フト雖モ。又。一念彌陀佛。即滅無量罪。ト説キ玉ヘハ。生涯念佛

等ヲ誹謗スルモ。心ニ信シテ。一聲ヲ稱フレハ。滅罪スルコト疑ナシ。殊ニ吾宗ハ。假ノ題目ヲ稱ヘテ。心ニ深ク念佛ヲ懷クカ故ニ。罪ト云罪ハアルヘカラズ。先自法ヲ成立セント欲スルトキハ。他ノ勝法ヲ巧ミニ廢セズンハ有ベカラス。是誠ノ智計也。勿慮々々。是ヲ務ムル者ヲ。吾門ノ信者トシ。是ヲ行スルヲ。法華ノ執行者ト申スナリ。トノ玉ヒケリ。

○番神示現章

(此章ハ法華守護ノ爲メニ三十三番神ヲ作爲シタルコトヲ述ブ)

建長元年己酉。高祖八十比叡山ニ有テ修學シ玉ヒケルニ。大衆皆ナ高祖ノ智徳ヲ稱シテ。常光院ニ住持セシム。抑山ニ三塔アリ。法水又分ル。一ツニ擅那流。二ツニ惠心流。三ニ安海流。四ニ安然流ナリ。此四海モ教ユル處大同小異アリ。皆高祖ノ意ニアラズ。唯佛説ノ一端ニ依ルノミナリ。此時高祖思惟シ玉



ハク。夫末世ニ法ヲ弘ムルニハ。唯實ノミニテハ弘通難シ。智證傳教。兩大師ノ説ト雖凡。今時ニ至リテハ。猶舊年ノ曆ノ如ク。今之ヲ改革シ。法ヲ弘メハ。却テ法光ヲ増サント思ヒテ。一山ノ大衆ニ教命シ玉ヒシカ凡聞ズ。故ニ深ク思惟シテ善巧方便ヲ設ケ。大衆ニ告テ曰。予ニ三十番神。順次ニ出現シテ告テ曰。汝ハ是レ本化上行菩薩ノ化身ナリ。今此國ノ佛法甚タ穢レタリ。願シハ之ヲ變革スヘシト告マシケル。依テ吾思フニ。今時ノ念佛。禪法。眞言。律宗等。皆佛神ノ心ニ協ハサルガ故ニ。是等ノ宗旨ヲ悉ク掃除シテ。妙法ヲ弘通セヨトノ告命ナラント。大衆ニ語リケル。大衆皆吾カ言ヲ用井ズ。剩ヘ嘲テ云。番神正ク出現シテ。如此ノ義ヲ告命シ玉フモノナラバ。何ゾ一山ノ法主ニ告ゲ玉ハサルヤ。且ツ公ノ外ニモ徳ノナ

キニシモアラズ。然ルニ他ニ告ケズシテ。公一人ニ告命ストハ何ソヤト。曾テ疑情ヲ懷キテ信セザルガ故ニ。吾秘計空シクナリヌ。此時山徒等。大勇猛力ヲ以テ。天下ノ諸宗諸廟ヲ折伏セバ。正ク妙法一教ノ世トナルヘキニ。大衆皆愚ニシテ。吾カ言ニ從ハス。剩ヘ番神ノ告命ナリト雖凡信セザリキ。可惜。可惜。此時モシニ神妙太郎神法太郎來リテ。吾ト共ニ計ラハ。吾願満足スヘキヲ。悲イ哉。二神ハ恐レテ。山門ニ入ル一能ハス。故ニ吾思謀モ空クナリキ。然ルニ此番神出現ト云ヒシコト。唯假初ノ方便トナル時ハ。大ニ吾弘教ノ害トナルヘシ。故ニ予自書シテ。神明ノ名ヲ記シ傳フナリ。末學。吾志ヲ嗣テ。宜シク之ヲ謀レト述懐シ玉ヒケリ。高祖ノ恩ヲ知ラハ末世イヨク是ヲ弘メテ。高祖ノ志願ヲ達スベキ也。



○妙法神驗章(此章ハ妙太耶法太耶ノ二狐ヲ使テ法華弘通ノ陪助ヲ爲シムルヲ述ブ)

或時高祖。松葉谷ノ庵室ニ在シテ。竊ニ門下ノ道俗ヲ召シテ。他ノ邪宗ヲ弘ムル者ヲ。窃ニ伐タンコトヲ謀リ玉フニ。姦賊之ヲ聞テ。集リ議シテ曰。日蓮ガ徒。今吾等カ宗旨ヲ伐タンコトヲ謀ル。イザ逆寄セニ往テ之ヲ伐テト。大ニ怒リ罵テ。高祖ノ庵室ニ至ラントス。時ニ二神(妙法ノ二狐)疾走リ來リ。此大事ヲ告ル。故ニ高祖ハ避テ。傍ノ巖屈ノ中ニ隠レ玉フ時。奸賊共襲ヒ來リテ。丈室ヲ見ルニ。高祖居玉ハス。邪徒等聲々ニ罵テ。丈室ヲ燒テ去ル。高祖深ク慥シテ巖屈ニ居ルヲ數日。出テ富木五郎カ家ニ至リテ。客タリシ時。五郎高祖ニ問曰。公巖窟ニ閉居シ玉フ砌リハ。何ヲカ食シ玉フ。高祖曰。吾巖窟ニアルヤ。野干來リテ食ヲ供セシナリト。有ノ儘ニ語リ玉フニ。五郎其嗜ヲ感心

スト云々。此頃門下ノ俗傳ヘテ云。高祖ニ食ヲ送リシハ。稻荷ノ仕送リナリト。然ルニ是ヨリ先。鎌倉ニ小治郎常世ト云モノアリケルガ。其妻卒ニ狂病ヲ發スル時。三人ノ山法師(絶道トヲ招請シテ加持ス。狂女口バシリテ云。吾ハ松葉谷ノ庵室ヨリ來レリ。只妙法弘通ノ爲ニ。曾テ情慾ノ爲ニ非ス。故ニ我主日蓮ヲ信向供養セバ必ス去ルヘシト云。依テ常世。高祖ニ贈物シケルニ。ソレト共ニ去テ。其病拭フカ如シト。故ニ野干ヲ使フニ。必ス若狐ヲ使フベカラズ。誤ルコトアリト。吾等ニ御物語アリケリ。此時ヨリ世上ノ惡徒等。高祖ヲ罵詈スルヲ甚シク。舉リテ日蓮ハ狐ヲ使ト云傳フ。此時常世ニ付ケルハ小狐ナリ。其ニ身入レシハ誤テリトノ玉フ。故ニ如此然ルニ今又高祖。其實ヲ五郎ニ語り玉フ。故ニ五郎モ。亦世ノ人口ヲ恐テ。深ク謀テ曰。此地幸ニ猿島ト云ヘリ。猿島ト云ハ。昔上

猿島ト云ハ。昔上地開ケル時。遠上ナルガ



故猿多シト。サレバ開ケテ漸ク高トナル故ナリ。此地ノ字トナル。源氏以後。此處ニ又山王ノ社ヲ建ヌ。縁イヨク深シ。故ニ公ニ食ヲ給セシハ猿ナリト流言シテ。此浮説ヲ妨クベシ。サラヌダニ公ノ惡名高シ。ヨク御思慮ヲ廻シ玉ヘト云ケレバ。高祖喜ヒニ堪ズ。厚ク禮謝シテ。一尊四菩薩ノ像ヲ彫テ。五郎ニ附與ス。五郎之ヲ安置シテ。法華堂山中法華寺是ナリ。二代建ツ。高祖靈狐ヲ以テ奇瑞ヲ顯シ玉フ秘密ノ口訣。皆ナ五郎ニ附與ス。五郎之ヲ嗣テ加持祈禱スルニ。頗フル妙アリ。此雄狐妙法ニ神ヲ。高祖深ク寵シ玉ヒケル。是レ獸ト雖モ。妙法弘通ノ爲ニハ。大智識ナルノ理アルガ故ニ。世人高祖ノ狐ヲ使ヒ玉フヲ惡口罵詈スルモノ有ト雖モ。春日ノ鹿ヲ使ヒ。山王ノ猿ヲ使ヒ。稻荷ノ狐ヲ使フヲ。惡口セザルハ何ゾヤ。恐クハ他宗ノ祖師等。如斯奇瑞ノ謀リ事ヲ得サルカ故ニ。偏執スルノミナラン。呼笑止ナル哉。

○弘通智畧章（此章ハマツ人ヲ憐セ置キ後ニ題目ヲ勸メテ快意ナラシメ而シテ此法ニ歸入セシムベキコトヲ述ブ）

高祖御物語リニ云。夫レ弘法傳教。法然等。普ク賞譽セラレハ一時ノ榮ナリ。然レドモ。是等ハ時機ヲ知テ。人ヲ計ルコトヲ知ラサル者ナリ。學解ハ勝ルト雖モ。遠キ慮ナシ。吾門ハ人機ヲ計ルコトヲ本トスルガ故ニ。彼等ガ教化ト同フスベカラズ。今夫レ世上ヲ見ルニ。智者ハ少ク。愚者ハ多シ。唯タ佛說ノ如キハ。菩提心ヲ第一トシテ教ユルキハ。智者ハ信スト雖モ。愚者ハ信セズ。惟ルニ智者ハ千百中ニ一二ヲ過キズ。然レバ如説ニ弘通セバ。信スルモノ千百中ニ一二ナラン。方便ヲ本トシ。唯現世一旦ノ榮花ヲ稱へ。或ハ幻法ヲ修シテ。猥リニ其利益ヲ見セシムルキハ。智者ハ信セスト雖モ。愚者ハ信スベシ。然レバ信セザルモノ千百中ニ一二ナラント。末世ニ至



ルニ隨テ倍々然ラン。故ニ吾宗ニ引入ント欲スルキハ。先能ク其人ノ情性ヲ察シテ。或ハ病マシメ。或ハ煩ハシメテ。而ル後ニ。先題目ヲ勸メテ。念佛ヲ信セシムベシ。一時苦シマシムルハ罪ナルニ似タレドモ。後ニ法花ヲ受持セシムルニ。功德又更ニ大也。故ニ前ニ苦マシメ。後ニ樂マシム。是レ吾門ノ慈悲トスル所ナリ。此故ニ如此シテ弘通セバ。終ニ海内悉ク妙法ノ世トナルベシ。遺弟必此言ヲ忽ニスルヲ勿レト。嚴制シマシ々々ケル。努々語ルベカラズ。顯スベカラズ。此レ吾宗ノ大法ヲ傳受ノモノ。之ヲ覺悟スヘシトノ玉ヒケリ。可秘可秘

○方便引導章（此章ハ世人ノ嗜好ニ投シテ弘通スヘキコトヲ述ブ）

高祖云。抑人ヲ教導セント欲スルニ。念佛宗ノ如ク。只道理ニノミ偏ル可ラズ。道理ヲ辨フル者稀ナレバナリ。又眞實ニヨ

ル可ラズ。眞實ヲ尊ムモノ少ケレバナリ。凡ソ人ハ奇ヲ好ミ。怪キニ走ルコト。戯兒ノ傀儡師ヲ追フガ如シ。昔吾相州愛中郡依智ノ郷ニ在（時五月晦日（舊曆））世人ノ賢愚ヲ慮リ見ル爲ニ。夜ル庭前ニ出テ法樂シ。天ヲ仰テ呼テ云。吾妙法ヲ弘通スルニ。連年珍蓄多シ。月天子如何々々ト。呼テ空中ヲ見ルニ。此時彼妙術ヲ以テ。庭前ノ梅樹ニ。衆星ヲ連テ見セシム。須臾ニ吾獨言ス。此時ニ本問重連。吾ニ問テ云。庭前ノ梅樹ニ。花ノ如ク點スルモノハ何ソヤ。吾答テ云。星ナリ。又問テ云。尊師獨リ空ヲ仰キ玉フハ何事ソ。吾答テ云。吾月天子ト問答スルナリ。君月天子ニ告ルコトアリ。之ヲ呼ハ。衆星忽チ降テ。如此梅樹ニ宿ル。是レ吾凡夫ニ非サルノ証ナリト教化セシニ。重連父子。大ニ感服シ。尊敬シテ。以テ眞ニ衆星ノ降リシト思ヒ。又



世人ニ之ヲ傳へ。世人又各之ヲ傳へ聞テ。今ハ全ク實ノ事ノ如ク世上ニ云フモノ多シ。可レ思。夫レ日月星辰ハ。經說ヲ以テ知ルニ。夫レ日ノ所在。高サ四萬由旬一由旬チ三千里トス也。日ノ大キサ五十一由旬。月ノ大キサ五十由旬ナリ。星ハ一由旬。乃至半由旬也。此土ノ里數ヲ以テ云ハ。小星ト雖モ周圍三四十里程ナラン。何ソ花ノ如ク。梅樹ニ点スヘキヤ。然レモ无智ノ凡俗ハ。却テ如是ノ理ニ合ザルコトニ非ザレハ信ゼス。今如此法術ヲ行フモ。是レ又弘通ノ方便ナルヲ實トシ。尊信セリ。然ルニ千百中ニ。一二モ信セサルモノアレバ。却テ之ヲ疑惑ノ深キ愚人トセリ。此ヲ以テ吾法ヲ弘通センニハ。先ツ愚者ヨリ先ニ引入スベシ。愚者殊ニ情慾深キモノナレバ。別テ現在ノ利生ヲ願フ心アル故ニ。吾相傳ノ宗風ニ入り易シ。然ル後只題目ヲ以テ。

一向ニ現益ヲノミ祈ル心アル故ニ。時來テ自然ニ幸アルヲモ。偏ニ妙法ノ利益ト思カ故ニ。妙法ノ利益モ亦自然ニアルベシ。努々。他門ノ法則ト同シク思フ可ラズ。是吾門ノ秘密ナリト。ノ玉ヒケリ。秘々。

○三名一体章此章ハ彌陀釋迦觀音ノ三名ハ彌陀ノ一体ナルコトヲ述ブ

壽量品ニ云。如來秘密神通力ト云フ。天台智者大師釋シテ云。一身即三身名爲秘。三身即一名爲密。同大師云。八万法藏ノ妙也。肝心聖教ノ結經ナリ。衆生ノ出離ニハ要法ナリ。彌陀來迎シテ往生スルコトヲ得ト云々。傳教大師云。始メ妙法蓮華經ヨリ。終リ作禮而去ノ文ニ至ル迄。一々ノ文ハ殊妙ノ理ナリ。皆是レ西方彌陀佛ナリト釋シ玉ヘリ。故ニ三身トハ彌陀釋迦觀音ナリ。一身トハ則彌陀ナリ。故ニ心中ニ彌陀ヲ念シテ。表



ニ釋迦ヲ尊ムト。コレ同体異號ナルカ故ナリ。是吾門ノ秘密ナリ。不可許他。可秘可秘。

○法花血脉章（此章ハ血脉相傳ノ秘法ヲ述ブ）

吾宗定範秘極ノ血脉ハ。高祖深ク思惟シ玉ヒテ。定メ玉フ處ノ一紙ナルガ故ニ。永ク之ヲ摸範トシテ。一字一句モ加減ス可ラズ。又タ他宗ノ徒ニ於テ。如何ニ當宗ニ歸ストモ。血脉ノ傳ハ許スベカラス。唯宗内皆傳ノ法侶ノミ可授之者也。其血脉書如左。

法華秘密血脉ノ事

當宗一大事ノ相傳ナリ。他ニ授クベカラズ。今妙法蓮華經ヲ以テ。現當二世ヲ祈ル。是別儀ニ非ス。唯開宗ノ廢立ナリ。然ラハ則不題阿彌陀言語念佛不申事。深可秘密焉。當宗者以彌陀

威力成佛得道ス。故ニ深ク心ニ彌陀ノ願カヲ頼ムヘシ。是六字。諸神諸佛ヲ攝ム故ナリ。一念彌陀佛。即滅無量罪。現世利益無比類。必入後生清淨土ナリ。可秘々々。

救南 一切諸佛  
天道  
天照大神

救無 一切諸菩薩  
人道  
熊野權現

救阿 一切諸天無量龍神  
修羅道  
法華經万部八幡大神

救彌 六道能化五道冥官  
畜生道  
大般若經万部春日明神

救陀 金剛明王  
餓鬼道  
三寶荒神

救佛 過現末三世諸佛菩薩  
地獄道  
三十番神以下八百番神

如是六字名號ニ。六ヶノ口傳アリ。卒爾ニ不可許之者也。

年月日

身延山大法主

實名 花印

授與

實名



右血脉ノ一紙。吾等ニ授與セラレシ處。文句更ニ無異。故ニ後當山出處ノ血脉。必ス之ヲ定範トスヘキモノ也。夫レ六字口訣ハ。最モ當宗ノ真秘也。若シ過テ之ヲ道路ニ墮シ。或ハ之ヲ已ガ自坊ニ秘シ置クニ。露命限リアレバ。其人入寂ノ後。其寺跡ニ残り。終ニ他ニ洩ンモ亦計ルベカラズ。然ルキハ高祖御一生。千辛万苦シ。秘シ玉フ處ノ教相。徒ラニ水ノ泡ト消ナシ。尤モ歎カハシク思フベシ。故ニ此文ノ如ク。六字ニハ一々如是深甚ノ法コモレリト云コト。暗讀シ知ラハ。唯貫主ノ實名ト判ト。已ノ實名ト。授與セラレシ年月日トノ處ヲ除テ。餘ハ速ニ火中スヘシ。能々教示シテ口訣スヘシ。他門ノ凶徒ニ奪ハレザルノ覺悟。最モ肝要ナリ。

○記文法則章(此章ハ後世宗祖ノ傳記ナリ。作ル者ノ心得ノ事ヲ述ブ)

或レ日御物語ニ云。夫レ山水眺望ノ圖ヲ書スルモノ。花ヲ書クニ蝶ヲ添。畫ニ霜ヲ副。是元ヨリ有ニモ非サルモ。之ヲ圖書スルニ是ソノ風景ヲ増ノ方便ナリ。強テ虛構ト云フニアラズ。其物ニ付テ。其情勢ヲ顯ハサンカ爲也。後世ニ至テ。若シ吾傳ヲ述作センエ。又此心得アルヘキ哉ト。仰セ言アリケル。情案スルニ。高祖ハ名利ヲ好ミ玉フニ非スト雖モ。教法弘通ノ方便ナレハ。高祖ノ傳記ヲ顯サント欲セハ。必ス先ツ諸事ヲ莊嚴シテ。末世ノ凡俗ヲ引入スヘシ。夫レ只一旦ノ利益ハ。願人ノ心ニ依テ生スルモノナレバ。愚民等ハ。經說ノ深義ヲ辨ヘサル故ニ。只高祖ノ威法ヲ飾ラハ。是ヲ聞テ妙法ヲ信スヘシ。是レ大尊師タルモノ可有覺悟所ナリ。

○鐘鼓進退ノ事(此章ハ宗門ニ鼓ヲ打テ。讀經スルコトヲ述ブ)



高祖云。一遍坊。鐘ヲ鳴シテ念佛ヲ弘ムルガ故ニ。吾是レニ觀  
リテ。鼓ヲ打テ題目ヲ唱ヘ勸ム。抑戰法ニ於テ。大鼓ハ進ムノ  
具ナリ。鐘ハ退クノ器ナリ。吾鼓ヲ打。勸ムルノ本意ハ。四箇ノ  
念佛言ヲ唱ヘ(基守云一ニハ四箇ノ  
公言ヲ唱ヘトアリ)八宗ヲ調伏シ。諸法ニ魁シテ。此一  
宗ヲ興隆センカ爲メノ表示ナリ。茲ニ吾父妙手自ラ鼓ヲ張リ。  
是ヲ吾ニ進付ス。吾之ニ銘シテ云。貴賤上下。持戒破戒。威儀具  
足。及不具足。正見邪見。利根鈍根等。兩法兩而無階。吾此鼓ヲ  
廟院ニ藏シテ。打テ誦經シ。父母ノ菩提ヲ吊フ。予之ヲ見ル  
猶父母ノ如ク。我遺弟亦是ヲ見ル。猶我ノ如クセバ。是吾本  
懷ナリトノ玉ヒケリ。

○點眼密法章(此章ハ已レ新結センニハ先ツ他宗ノ  
佛像ヘ點眼スヘキコトヲ述フ)

或年。近藤伊豫入道清久(一ニ清文)高祖ノ奇術ヲ見テ感拜シ。嘆云。吾

ハコレ淨土宗也。祖ノ法然ハ。只念佛ノ一行ヲ勸テ。出家沙門  
ノ形ヲ以テ本トセズ。一文不智ノ尼入道ノ。无智ノ身ニ同シ  
テ。信スレハ往生スルゾト。教フルノミニシテ。俗モ僧モ行ス  
ル處更ニ別ナルヲナク。數年功ヲ積テ行スレドモ。別ニヨキ  
口傳等ノ深義ナシ。然ルニ高祖ノ御弟子ヲ見及フニ。御口傳  
ヲ受タル上人ハ。奇瑞ヲ顯シ。種々奇特ノ事モ多カリキ。誠ニ  
コレ即妙法深甚ノ法ナリ。最モ尊信スヘシト。深ク高祖ノ奇  
瑞ヲ隨喜シ。改宗シテ門下トナリ。高祖ヲ請ス。高祖即其家ニ  
至リ玉ヒテ。妙法ノ奇瑞ヲ顯サント爲玉フニ。更ニ其行法ノ  
顯レナケレバ。高祖怪ミ玉ヒ。其佛間ヲ見玉フニ。法然ノ作セ  
ル彌陀ノ立像アリ。其時懷中ヨリ。針ヲ出シテ。密ニ其兩眼ヲ  
サシテ。而ル後。妙術ヲ行ヒ玉フニ。頗ル奇瑞アリ。此時高祖竊



ニ吾等ニ告テ云。弘法。惠心。法然等ノ。開眼シタル形像ノ前ニ  
 テハ。奇瑞ヲ行フベカラズ。必スシモ妨ケアルヘシ。故ニ他門  
 ノ堂塔ニ於テ。祈禱ヲ爲スヘカラス。若シ止ムヲ得ズンハ。能  
 ヲ其佛間ヲ見テ。靈像アラバ。密ニ如是爲シ。後ニ祈ヲ行フベ  
 シ。イカニ靈像タリ。妙術ヲ行フ妨ケアルコトナシ。是レ吾宗  
 秘密ノ點眼ノ法タリ。極メテ他ニ語ルベカラス。假令吾宗行  
 者タリ。數年積功ノ法器ニアラスバ不可ナリ。假令積功ノ  
 モノニシテモ。必ス此者變心スヘカラサルノ証ヲ見スンハ。  
 都テ秘事ヲ語ルヘカラス。ト嚴誠シ玉ヒケリ。干時點眼ノ後  
 ニ。神ヲ呼ビ。(神トハ妙法ノ二狐ナラン)種々奇瑞ヲ顯シ見セ玉フニ。衆人彌高  
 祖ノ法義ニ歸シ奉リキ。是ニ於テ。遂ニ此彌陀ヲ以テ釋迦佛  
 ト名付。本尊トシ。一宗ヲ建立シ。一谷妙照寺是ナリ。可知。夫レ

點眼ノ法ハ。罪ナルニ似タレドモ。二神引入シテ奇瑞ヲ示サ  
 ンニハ。止事ヲ得ザレハナリ。故ニ奥院ニ密シ。彌陀佛ノ正像  
 ヲ安スルコトハ。是レ滅罪得功ノ爲ナリ。未學ヨク此理ヲ辨フ  
 ヘシ。祈禱ノ前ニハ靈佛。靈像。六字名号等。最モ深ク禁スヘシ。  
 動モスレハ妙術ヲ行フニ妨ケアル故ナリ。吾門ノ行者。能々  
 思慮スヘシト。慈訓マシケリ。

○二神感應章(此章ハ阿彌常ニ宗祖ニ給仕シテ奇瑞ヲ顯ハスコトヲ述ブ)

高祖在マス時。何レノ處ト雖。必ス野干來リテ馴ル。近侍ノ者  
 之ヲ見ト雖。密旨相傳前ノ輩ハ。曾テ之ヲ見ルコト不能。時ア  
 リテ他方ニ使ヒナサシムルキハ。人更ニ野干ナルコトヲ知ル  
 者ナシ。世間ノ事ヲ來リ告ルニ。一トシテ違フコトナシ。珍客異  
 人來ルコトアルキハ。必ス先キニ疾來リ之ヲ告ク。其言語人ノ



能ク及フ處ニ非ス。會々來リ訪フ道俗ハ。稀ニ聲ヲ聞クト雖  
凡。其形ヲ見ルコト不能。故ニ諸人怪ミテ云。蓋シ此神靈ノ應  
現シ玉フナラント評稱セリ。世人又之ヲ傳ヘテ倍信仰セリ。  
故ニ高祖常ニ之ヲ愛シ玉フナリ。然レ凡禰宜山伏等ノ如ク。  
邪慈貪欲ノ心ヨリ。使ヒ玉フニハ非ス。只妙法弘通ノ方便ナ  
リ。吁々高祖大徳ナル。狐狸サヘ來リ懷ク。然ルニ人トシテ他  
宗ヲ信シテ。高祖ノ法義ニ懷カサルハ。實ニ禽獸ニモ劣ルモ  
ノナリ。可悲々々。然レ凡高祖ノ使玉フ野干ハ。是レ妙法二神  
ノ眷屬タルモノナリ。是レ吾門ノ法徒也。此條堅ク可秘密。祖門  
第一ノ嚴戒ナリ。又此ノ法猥リニ相傳スヘカラズ。他門ノ徒。  
是ヲ聞カハ。高祖ヲシテ。巫醫山伏等ノ。奸賊ノ類ニ同セン。搆  
テ他ニ顯スヘカラス。可秘密。

○義士忠死章(此章ハ四國ノ奇蹟モ戰場ニハ其証ナカリシヲ述ブ)

高祖御物語ニ云。交永甲子年十一月十一日。小松原ニ出遊シ  
ケルニ。東條村主金吾景信。舊來ノ遺恨ヲ以テ。卒ニ兵士數百  
人ヲ率ヒ來テ。罵テ云ク。汝旂多羅ノ身ニ在ナガラ。予ヲ謀テ  
實ヲ隠シ。上ヲ憚ラズ。自ラ慢シ。三衣ヲ着シテ横行シ。他法ヲ  
妨ク。爭テカ安穩ニ置クベキヤト罵ケルニ。吾徒弟モ。彼ガ無  
禮ノ言ヲ惡ミ。暫ク舌戰セシホドニ。彼等弓ヲ引キ放チ。刀ヲ  
拔テ吾等ヲ圍ム。吾等ハ只僅ニ十人ニ足ラズ。殊ニ甚々急戰  
ナルガ故ニ。二神。(妙法ノ二  
狐ヲ云フ)道ヲ失フテ去ル故。如何モスルニ能  
ハス。止ムコトヲ得ス。吾モ法子ニ命シテ戰ハシム。兵刃相接シ  
ケルニ。鏡忍先鋒シテ遂ニ戰死ス。乘觀モ亦タ積テ勇戰シテ  
疵ヲ被ル。双方手負者數人。柔和忍辱タランコトヲ本トスル故



ニ。道ヲ求メテ往路ヲ退ントセシニ。敵一人來テ吾ヲ追フ。故ニ吾止ム事ヲ得ズ。慈悲ト利劍ト兼テ。解脱衣ノ下ニ。密ニ帶タル一ノ刀一尺二寸相州ノ上作也。高祖一代ノ間御守リトシ玉ヲ寶劍。故ニ富山ノ寶寶トスヲ拔テ戰ヒ。一人ヲ打ツ處。後一人續テ吾ヲ伐ントス。故ニ吾又之ヲ伐ツ處。過テ我眉間ニ。此三寸ノ紙ヲ蒙ルキニ。西條村ノ工藤氏左近名云義隆馳來リテ救之。挑ミ戰タリ。此間ニ。景信又精兵ヲ加ヘテ大接戰ス。時ニ吉隆云ク。吾此處ニ於テ防キ戰フベシ。疾ク我館ニ移リ玉フベシ。ト諸卒ニ令シテ吾ヲ守護セシメテ天津吉隆ノ居館也送ル。爰ニ於テ漸ク休息スルヲ得ルホニ。吉隆ノ戰急ナリト告來リ。吾レ之ヲ聞テ不易■。三百ノ鋒ヲ以テ。肺肝ヲ刺サル、カ如ク思ヒシカニ。如何ニスルヲ難シ。其妻子等。吾ニ對シテ歎メ云ク。戰甚タ急ナリト聞ク。師君妙術ヲ以テ之ヲ助クル方便ハ

ナキヤト。頻リニ願ヒケル。此時吾眉間ノ疵疼痛甚シ。故ニ法ヲ行フニ氣力ナシ。故ニ固辭ス。衆皆歎キ去ル。程ナク戰敗レテ。吉隆モ戰死ス。此時吾悲歎セシ。今實ニ言語ニ述ヘ難シ。若此時吉隆ナカリセバ。吾レ免ル、ヲ得ンヤ。然ラバ吉隆ハ。吾爲メニハ命ノ父母ナリ。故ニ厚ク恩謝シテ。葬儀ヲ以テ。祀之。謚シテ妙隆院日玉上人ト號セシナリ。トノ玉ヒケル。後ニ寺ヲ造リテ妙隆山鏡忍寺トハ是ナリ又云ク。吾眉ノ紙ヲ隠シ玉ヘトテ。吉隆ノ妻女。手自ラ縫テ。吾ニ帽子ヲ附與ス。是即吉隆ノ衣ヲ以テ作り玉フモノナリ。故ニ吾生涯之ヲ捨ズ。又其信志ヲ忘レストノ証也ト云々。竊ニ思フニ二神ハ靈驗アリト雖モ。勇士ノ兵刃。接戰ノ場ニハ居ルヲ得ザルガ故ニヤ。然レハ奇瑞ヲ顯シ人ヲ歸依ナサシムルノ方便ニハ。最モ賢ト雖モ。勇士ノ接戰。或ハ



高貴ノ前ヤ。賢哲ノ前ニハ。其証ナキモノカ。吁々。物ニツ乍ラ  
全キコヲ得ルコト難キカ。歎息スヘキコトナリ。

○真深大願章(此章ハ蒙古ニ内通シテ國家ヲ亂シ他宗ヲ滅シ妙法弘通ノ計略アリシコトヲ述ブ)

高祖一時。私ニ御物語リアリケルハ。抑我國ノ愚民。大元蒙古  
ヲ以テ。父母ノ敵ヤ。主君ノ敵ノ如ク思フハ淺間敷ユトナリ。  
是己ガ賊タルヲ不知也。狂犬却テ正人ヲ吼ガ如シ。大元蒙古  
ヲ以テ。狼リニ賊ト思フ勿レ。今我國ヲ見ルニ。三類ノ法敵盛  
ンニシテ。君臣上下。共ニ其邪教ヲ信シテ。我正法ヲ廢ス。故ニ  
天ヨリ異國ニ命ノ。此國ヲ伐シムルナリ。故ニ國民自ラ國法  
ヲ恨ムルモノ不少。然レモ國司等皆愚ナル故。是ヲ知ルコトナ  
シ。然レハ疾ク彼二神ノ告ニ依テ。其大望アルコトヲ知ルカ故  
ニ。密ニ往テ語テ云ク。夫レ此國。今ハ上下只邪教ノ泥ニ醉テ。

却テ我真說ノ妙法ヲ罵詈ス。故ニ災害並ヒ至ルナリ。故ニ國  
人ノ爲メ。天下ヲ一變シテ。世上ノ垢穢ヲ滅キ。此地ノ災害ヲ  
除カント欲ス。然ルニ仁モ亦タ大望アリ。夫レ能ク其本末ヲ  
知ル。今ヨリ吾ニ同志セバ。必ス吾神力ヲソヘテ。仁ノ諸願ヲ  
悉ク満足セシメント云ヒケルニ。彼レ一度ハ驚キ怖レテ隠  
セシナリ。然レモ吾レ其心情ヲ知ルコト。明鏡ニ影ノ移ルガ如ク。  
明ニ之ヲ徹見スルカ故ニ。遂ニ伏シテ明白ニ。其心事ヲ語ル。  
其語ニ云ク。先年彼ノ元ノ間使ニ逢ヒケルコトアリテ。夫ト心  
ヲ合セ。堅ク約シテ此國ヲ伐タンコトヲ秘謀セリ。然ルニ尊者。  
吾志願ヲ察シ玉ヒ。サコソハ無道不忠ノ武士ト思ヒ玉フラ  
ン。然レモ。我トテモ唯故ナクシテ。如是ノ心ヲ發スニ非ス。抑  
モ今ノ將軍ハ。元來是レ朝敵ナリ。吾平氏(基守云吾平氏ノ三字一ニハ吾平氏トシ  
一ニハ具平氏ト有テ參酌シテ如此改)



ツメ記ノ怨敵ナリ。然レモ時ノ威勢拆キ難キニ依テ。我モ亦之ニ服従スルト雖モ。心中何ソ喜ハシキヤ。然ルニ尊者ノ吾ニ是ヲ知ラシメ玉フ上ハ。何ソ一ツモ包ミ隠スノ謂レアランヤ。願フハ今ヨリ心ヲ合セ。共ニ此大願ヲ成就セシメン。而シテ彼元軍利アラハ。其時ニ至リ。先尊者ヲ以テ。此國ノ法王ト奉リ。志願シ玉フ如ク。諸宗諸法ヲ掃除シテ。妙法一法ノ世トナスヘシ。予ハ又國政ヲ取テ万民ヲ撫育セント。互ニ約シテ。知ラサル風情ヲシテ遠ク相計ル。彼モ日頃ニ倍シテ。君命ヲ重ジ。表ニ誠忠ヲ見セシム。我モ亦宿屋入道禪ハ西念光明ニ托シ。北條相摸守等ニ奏シテ選述セシ。立正安國論等ヲ以テ諫言セシ也。此吾深甚微妙ノ思慮アルナリ。其故ニ。若シ吾諫ヲ用キテ。八宗九宗ノ僧徒ノ首ヲ悉ク切テ。由比ガ濱ニ肆サハ。是國亂

ノ本ナラント必定ナリ。其慮ヲ謀テ。元軍ヲ招カハ。何ソ利アラザランヤ。然ルモ。吾モ彼モ。此大願ノ成就セシト必セリ。若シ公所マテ是ヲ用キズモ。國ノ爲メニ如此諫奏セハ。吾心中大ニ望ミアルトヲ。人亦知ルベカラズ。是レ兩端共ニ。吾大利ナリ。若シ又先ニ述ル處ノ如ク。我等所願悉ク成就シテ。妙法ノ世トナリシ後ハ。宗祖ハ異國ニ組シテ。宗旨ヲ弘メラレシト。評セラレンモ。又吾厭所也。然ルニ二三度モ諫メテ。公所ニ用キラズンバ。後世ノ人。何ソ吾ヲ不忠ト云ンヤ。又吾宗ニハ。他宗ヲ毀チテ。天下ノ諸宗ヲ折伏スルノ法ナリ。然ルニ戰場ニ趣キシキ。公所ヨリ吾軍利ヲ祈リ乞ニ。全ク祈ヲナサハ。吾志願空クナリヌヘシ。又利運ナラズンハ。日遠ガ祈禱ハ。驗ナシト。衆人ニ惡マレ。罵詈セラレンモ口惜シ。然ルニ吾方



ヨリ先ニ奏進シテ。八宗ノ僧徒ノ首ヲ切テ捨テスンバ。如何ニ妙法經力ヲ以テ祈ル。其利益アルヘカラズト云テ。兼テ奏シ置タル上ハ。祈ルノ驗ナシ。何ソ誤トセンヤ。又人ノ誹謗モアルベカラス。如此後ニ至テモ。此兩端ノ利アルヲ慮テナリ。抑如此ノ大議ヲ計ルハ。父母妻子アルモノハ成就シ難シ。其故ハ。若シ其事顯レナバ。罪ナキ妻子マテモ刑セラレ。家名モ失ヒ。先祖ノ廟裔モ斷絶セラレナント恐ル。故ナリ。凡事ハ危キニ臨マサレハ。大功ハ成シ難シ。夫レ桑門ハ心ニカ、ル父母モナク。思フ殘ス妻子モナク。後ヲ思フ血脉モナキ故ニ。如是秘計ヲ回サンニハ。桑門ニ若クハナシ。故ニ吾出家セシナリ。故ニ表ニ出家ノ形ヲ示スト雖。心ニ是ヲ懷ク。故常ニ武臣ヲ愛シ。馬ヲ嗜ミ。又劍ヲ不捨コト。此其ノ謂ナリ。

然ルニ天ノ時至ラス。吾運來ラズシテ。遂ニ蒙古ノ兵船。風波ノ爲メニ破ラル。ハ。吁々。我門ノ不幸ナリ。後來此ノ身延ヲ以テ一宗ノ主城ト思ヒ。時アリテ如是ノ秘計ヲ廻ラサバ。是レ又妙法弘通ノ一助タラン。後世當山大法主タルモノ。此意アルベシト。訓誡シ玉ヒケル深秘記ナリ。他宗ノ徒ヨリ之ヲ見レハ。高祖此國ニ生レテ。此國ヲ伐ツヲ謀ル。不忠ノ至ナリト思フベシ。本末正法ヲ知ラサレハナリ。抑醫ノ肉ヲ割テ人ノ病氣ヲ除ク。一時ハ苦ムト雖。後ノ幸ナリ。高祖如是ノ秘計モ亦如是。一ニハ天下苦シムト雖。後ニ万々歳。妙法ノ經樂ヲタノシム。豈夫レ快カラズヤ。可レ秘可レ秘。

○念佛無間章(此章ハ念佛ヲ主トスル淨土宗真宗ノ如キハ必隨無間ノ業ナル理由ヲ述ブ)

文永八年未年十月廿八日。高祖佐州ニ遷リ。同ク十一月朔日。



漸ク塚原ノ里ニ至リ。一ノ茅屋ヲ占ムト雖<sub>レ</sub>。蓬戶草堂。唯雨  
露ヲ凌クノミ。時哉末法弘教ノ大道師。如此ノ勞ヲ成シ玉ハ  
ン<sub>一</sub>ハト思ヒ出ルニモ。猶袖ヲ絞ラズト云フ<sub>一</sub>ナシ。干時二  
神(妙法)ヲ以テ種々ニ方便シ。或ハ里人ノ厄ヲ救ヒ。或ハ病ノ憂  
ヒヲ除カシムルニ。奇瑞微妙。人更ニ皈セズト云フ<sub>一</sub>ナシ。時  
ニ後ノ山塚原ヨリ  
三里程ト云フ所アリ。此地ニ阿佛坊ト云フモノアリ。  
元コレ藤原朝臣入道爲盛ノ臣也。性本ヨリ邪ナルガ故ニ。淨  
土ノ邪教ヲ信ノ。常ニ念佛ヲ行ヒ。又授戒ノ數月ノ日課ヲ修  
ス。然<sub>レ</sub>凡書ヲ見ル<sub>一</sub>ヲ好メルガ故ニ。善道。法然ノ書ニ粗明  
カナリ。故ヲ以テ。慢ニ僧徒ヲ輕蔑シ。在家ニ住シテ。恣ニ說法  
ヲ成ス。時ニ高祖塚原ニ在ス<sub>一</sub>ヲ聞。來テ爭論ヲナサシ<sub>一</sub>ヲ  
乞。吁蟻螂ノ斧ナル哉。高祖案内ニ應シテ。相逢テ坐ス。其容儀。

恰モ須彌山王ノ金臺ニ坐スルカ如シ。阿佛坊云。吾ハ是淨土  
宗也。仁ノ諸說傳聞スルニ。頗不審ナキニ非ス。依テ其處立ヲ  
聞ンガ爲ニ來レリ。抑仁ノ說ク所。念佛ハ無間ノ業ト云ヘリ。  
夫レ彌陀ノ本願ハ。末世相應ノ要法也。諸經ハ云フズ。時機不  
相應ノ教也。故ニ經ニ末法時中。億々衆生。未有一人  
得者ト。釋迦兼テ說キ玉ヘリ。然<sub>レ</sub>ハ法然ノ書ニ云フ。新ラシ  
モ。末法ノ今時ニ當テ。必ズ一人モ成佛スル。云々。云々。カラズ。  
唯念佛ノ一法ノミ。六万ノ如來モ誑誑シ。三世ノ諸佛モ贊歎  
シ。一切諸天モ擁護シ玉フト說玉ヘリ。云々。依テ仁ノ尊ム處  
ノ法華ノ元祖。天台大師モ。止觀ノ常行三昧文ニ釋シテ曰。若  
唱彌陀。即是唱十方佛功德等トアリ。但專以彌陀爲彌陀法門  
王等トノ玉ヘリ。故ニ善道大師。但專念佛ヲ以テ本ト勤メ玉



へリ。然ルニ其念佛ヲ無間ノ業トソシルハ。何事ゾヤ。佛ノ經ニモ非ス。菩薩ノ誦ニモ非ス。先德ノ釋ニモ非ズ。然レモ全ク念佛ヲ無間ノ業ト云ヤ。如何ト。問ケル時。高祖答曰。然リ。念佛ハ全ク無間ノ業ナリ。夫ニ付吾亦汝ニ問フコアリ。抑汝カ宗旨ニ於テハ。全ク今云フ如ク。念佛ニハ無量ノ功德籠レリ。諸善万行モ籠レリ。故ニ一切ノ佛菩薩等。之ヲ護念シ玉フト云フコヲ真ト知ルヤ。又僞リト思ヘルヤ。如何ト。云々。阿佛坊答曰。是レ經論釋ノ上ニ於テ明ナリ。何ソ疑ヲ容ンヤト云々。高祖又問云。汝ノ宗旨ニテハ。善導法然ヲ實ニ貴ムヤ。又僞ニ貴ムヤ。阿佛坊答曰。夫レ善導大師。法然上人ハ。和漢ノ明師也。何ソ僞リ貴ムノ理アラシヤ。眞實ナルコト勿論ナリト云ケル也。高祖ハタト手ヲ打チ。笑テ云。サテ能ク念佛宗ハ無間ニ墮

ルコト疑ナシ。情々僞リ飾ル宗旨ナルコト哉。汝ノ云フ所。悉ク是レ僞ナリ。其故ハ。釋迦尊者經ニ。一向專念无量壽佛ト説キ。又ハ一向專念彌陀名號ト釋ス。一切善根ハ悉ク名號ニコモレリト説玉ヘリ。然ルヲ疑ヒナクハ。何ソ念佛者ニ於テ。余行ヲ勤ムルノ理アラシヤ。然ルニ此頃世上ヲ見ルニ。念佛ノ行者。好ンデ種々ノ苦行樂行ヲナスモノ多シ。皆ナ是唯諸人ノ敬ヲ受ケン爲メノ。巧ミヨリ出タルコトニテ。本願ノ意ニソムキ。經ノ義ニ違ヘリ。然レハ念佛ノ行者ヨリ。念佛ノ誹謗者ナレハコソ。無間ニハ墮スルナリト云ヘリ。又善導法然ヲ尊ムト云モ。是レ又僞ナリ。其故ハ。法然ノ撰擇集ニ。雜行雜修ハ捨ヨ。唯一向ニ念佛スヘシト述べ。淨土彌陀經ノ外ハ。讀ムモ雜行ナリ。彌陀ノ外ハ拜スルモ雜修ナリ。但專ラニ念佛ヲ修ス



ヘシ。サルニテコソ。釋迦彌陀ノ意ニモ叶ヒ諸天擁護シ玉フトハ教ヘタリ。汝知ルベシ。是レ善導法然ノ意也。汝是ヲ知ラスヤ。若シ知ラスハ。淨土宗ニ居テ。淨土門ヲ知ラザル故ニ。無間ニ墮スヘシ。若シ是ヲ知リ乍ラ。利養ノ爲ニ彌陀ノ本願ニソムキ。善導法然ノ教ニナキ。雜行雜修ヲ事トシ。一文不知ノ尼入道ノ無知ノ身ニ等シクシテ。唯一向ニ念佛スル計リナリト教ヘタル宗風ヲ。サマシク偽飾シ。愚人ヲ惑ハシ。利養ヲ貪リ。信コソ彌陀釋迦ノ意ニ背キ。宗祖ノ教ヲ破リタル大罪ナリ。故ニ無間ニ墮スルトハ云ナリ。今ノ念佛者ハ。口ニ數万ノ念佛ヲ唱ト雖モ。心ニ念佛ヲ信セス。故ニ萬善具足ノ念佛ヲ不足ニシテ。餘行ヲ修シ。稱ヘ易ク。行シ易キ名號ヲ外ニシテ。善導法然ノ教ニナキ。斷食不臥ナトヲ成スモノ。是レ苦ン

デ以テ經ニ背キ。師說ニ違フ。墮地獄ニアラスシテ何ソヤト。仰セラレケルニ。阿佛坊モ口ヲ閉テ。面色ヲ失テ忙然タリ。此時。高祖首ニ掛タル守ノ一封ヲ出シテ。此ヲ見セ玉フニ。此封六字ノ名號ナリケレバ。阿佛坊ハツト驚キ。其故ヲ問フ。高祖云。善導法然。念佛ヲ信スト雖モ。其性愚ナル故ニ。始ヨリ念佛ヲ勸ム。聖光親鸞等ハ。是レ愚中ノ愚ナルカ故ニ。始ヨリ奧秘タル念佛ヲ勸メテ。之ヲ奧秘ニスルコトヲ知ラズ。故ニ是ヲノ愚ハ取ルニ足ラズ。吾宗ハ表ニ念佛ヲ誦ルト雖モ。心ニ深ク念佛ヲ尊ム。故ニ無量ノ大善ヲ具シテ。現當ノ利益アリ。是故ニ臨終ニハ。必ス正念ニシテ來迎ヲ受ケ。安樂淨土ニ往生スルナリ。故ニ經云。於此命終シテ。即往生安樂國。彌陀佛大菩薩衆ニ圍遶セラレテ。往所生蓮花中寶坐ノ上。ト説キ玉フゾト



ノ玉フ。阿佛。唯隨喜ノ泪ニムセビ。速ニ改宗シテ法子ト成ヌ。  
高祖御生涯中。初對面ニシテ。法門ノ奧儀ヲ授與セラレシモ  
ノハ。唯此一人ナリト御物語リアリ。吁是風善ノ所機ナル哉。  
後山爲寺。今本光寺是也。

○邪禪天魔（此輩ハ。禪ノ天魔業。眞言ノ亡國業。律ノ國賊業ナル理由ヲ述フ）

高祖云。世中ニ愚ナルモノ多ケレドモ。禪宗ホド愚ナル者ハ。  
又々稀ナリ。彼カ宗ニ尊ム處ノ語録ト云モノ。其拙ナルヲ小  
兒ノ寐語ニ似タリ。其毒ヲ問シ有事ハ。所謂嫉妬ノ燥言ヲ云  
ガ如シ。一トシテ取ニ足ルモノナシ。愚ナルガ中ニモ。達摩。惠  
可等ハ。一ツノ取ル所アレドモ。夫ヨリ以下ノ頑僧ハ。只彼獵  
師ノ袈裟ヲ着スルニ異ナラズ。一向ニ開示悟入ヲ証トスレ  
ドモ。闇夜ニ徑路ヲタドルガ如ク。見性成佛ナド云ヘルハ。猶

木ニ依テ魚ヲ求ムルヨリモ難シ。吁不便ナル哉。人間ニ生ヲ  
受ケナガラ。好シテ山林幽谷ニ入テ。獸ノ類ニ落ち入り。浮木ノ  
龜ノ妙法ニ逢ヒ乍ラ。徒ラニ壁ニ向ツテ尻ヲ腐シ。誠ニ知リ  
ヌ。彼ガ悟ルト云ハ。猶深ク迷ヘル也。彼輩ノ言ニ云。執着ノ念  
ヲ捨ザレハ。見性成シ難シ。故ニ佛法僧共。一ニ執ス可ラスト  
云ヘリ。愚ナル哉。眼前ニ見ツベシ。夫禪宗ト云フ宗旨ヲ建テ  
坐禪ニノミ屈執スルハ。早ヤ已ニ邪禪ニ迷ヘルナリ。彼輩ノ  
云ク。教外別傳。不立文字。ノ宗旨ナレバ。經相ニハ依ラズト云  
ナガラ。禪僧ノ愚錄ニ眼ヲ肆シ。釋迦何人ソ。我何人ゾト。自謾  
高謾ヲ募リテ。爭カ天魔ニ身入り。如此邪路ニ迷ヘリ。是等ノ  
徒曰。其邪執ヲ離レテ。正シキ心ヲ以テ。能ク教相ヲ學ンコト。  
暗夜ニ燈ヲ得タルガ如ク。渡リニ舟ヲ得タルガ如シト云ヘ



ル處ヲ覺悟セバ。是ゾ眞ノ悟リヲ開キタルモ云ナリ。然ルヲ  
教外別傳ト云立テ、己カ佛ノ本意ヲ知ラサルヲ秘シ隠  
サン爲ニ。教相學者ヲ卑シム。吁是恐シキ巧ナル哉。依テ彼等  
カ如キノ愚宗ニ對スルモハ。經論釋書ノ如キ語ハ用ルニ不  
足。只眼前ノ理ヲ以テ推スヘシ。吾若カリシキ。遊學ノ砌。相州  
河ノ邊ニ休ミ居ル處。禪坊ト念佛坊時ト連立テ物語ヲナス。禪  
坊云。貴僧ノ宗旨。彌陀ノ力ヲ以テ成佛スト。手間ドレル沙汰  
ナリ。我宗ハ直指人心。見性成佛トテ。手早キ悟リ也。改宗シテ  
禪宗ニ成玉ヘト云。念佛坊云ク。吾等ハ智惠モナク。戒行モナ  
ケレバ。開示悟入ハ。思モヨラザルヲナリ。只彌陀ヲ頼ンデコ  
ソ。迷ヲ離ルヘシト云。禪坊云。夫ハ善導。惠心等ノ教タル處ナ  
リ。何ソ人ノ云フヲ用ユルヤ。唯たゞ以心傳心ニシテ。自ラ悟ラ

ンニハ若カズト云。念佛坊云。釋尊ノ經ニモ。只一向ニ彌陀ヲ  
頼ム可シト説キ玉ヘハ。只其經説ニ任スルナリト云々。禪坊  
云。經ニヨルハ漸中ノ漸ナリ。自ラ悟ルハ頓中ノ頓ナリ。念佛  
坊云夫ハ逆言さか言ナリ。念佛コソ頓中ノ頓也。開示悟入ハ漸中ノ  
漸也ト云キ。其前ニ川アリキ。二人共。其川岸ニ至リ。二僧彼方  
ニ行ントス。念佛坊云。禪宗ハ以心傳心ナレハ。心ヲ以テ傳ヘ  
テ。自ラ淺瀬ヲ悟テ渡リ玉ヘ。手ハ念佛宗ナレハ。他力ヲ頼ミ  
テ渡ルベシトテ。人ヲ頼ミテ越タリ。禪坊。其所こゝ此所ト尋ケレ  
ドモ。淺瀬ナケレバ。遂ニ人ヲ頼ミテ越タリ。此時念佛坊曰。禪  
坊聞玉ヘ。眼前ニ見ユル小ザカシキ河ノ淺瀬サヘ知レ難キ  
ニ。目ニモ見エヌ。生死ノ大海ヲ。自ラ悟テ渡ラントハ。情テノ  
愚ナル哉。ト云ツ、行ホドニ。禪坊赤面シテ語ナク。唯怒リテ



立別レケル。吁是レニテ禪宗ノ愚ナルヲ知ルベシ。世尊。摩訶  
迦葉ニ告ケテノ玉ハク。末法ニ至リ。經道滅盡ノ時。邪禪盛  
ニ弘マリ。經相ヲ外ニシテ自迷ヒ。是ヲ悟トシ人ヲ誑カスモ  
ノアリ。全ク悟ヲ開キタル身ハ。煩惱ナキ故。身ヨリ光明ヲ出  
シテ。三十二相モ具足スルナリ。不然ハ皆偽ト説キ玉ヘリ。然  
ハ今禪宗ハ。唯己ガ宗旨ニ辯執シテ悟ラント思ハ。イツカ天  
魔ヲ尊テ。道德者知識ナシト云。是レ又天魔ニスカレヌルナ  
リ。又愚俗ヲ誑カスヲ悟リタル証ト云ヘリ。此等ハ何ソ悟ノ  
証トセンヤ。是等ノ小通ヲ悟ト云ハ。狐狸ユソ悟ヲ開キタ  
ル也ト云ベシ。是レ已ニ迷ヘル身ナガラシテ。又人ヲ迷ハス。  
故ニ天魔トハ云ヘリ。如此禪坊ハ愚ナル者故ニ。謀テ吾用ヲ  
爲シムルニハ。又最モ可ナリ。故ニ先年我囚トナリシ時。密ニ

法子ヲ道隆ノ元ニ遣シ。政庭ノ赦ヲ申受ケ玉ハンヲ。懇ロ  
ニ乞フ。道隆否マズ諾ス。既ニ其日ニ成スレハ。吾ハ馬ニ騎セ  
ラレテ。街道ヲ巡リ。龍ノ口ニ趣クニ。途中ニ河アリ。道隆。此所  
ニ疾ク來テ。吾ヲ待テ相逢フ。後此所ナ呼テ  
行逢川ト云馬ノ口ヲ取テ。自ラ相隨  
テ龍ノ口ニ至リ。衆卒ニ云テ曰。夫禽獸タリト雖也。其生ヲ見  
テハ。其死ヲ見ルニ忍ヒズ。其聲ヲ聞テハ。其肉ヲ食フニ忍ヒ  
ズ。今コノ法師。罪アリト雖也。未タ禽獸ニハ非ス。何ゾソレ。死  
地ニ臨ムヲ見テ。吾之ヲ捨ンヤ。愚僧カ身ニカヘテ。此赦ヲ乞  
フ。若シ吾言ヲ不用ハ。先吾ヨリ先ニ誅セヨト云テ坐ス。此道隆  
條家歸依ノ僧  
故ニ威アリ。劊士モ如何ニ爲ルヲ能ハス。衆士集リ議シテ。遂ニ是  
ヲ公門ニ奏ス。君公此諫ヲ聞キ。赦狀ヲ下ス。道隆遂ニ我ヲ伴  
ヒテ歸寺ス。經ニ云。若シ人惡刀杖及瓦石ヲ加ント欲セバ。化



人ヲ使メ。之ガ爲ニ衛護ヲ作スベシト。說玉ヒケル。今此變化ノ人トハ。則道隆ナリ。此時若シ我ヲ助ケズンバ。道隆モ天魔トナルヘキニ。我ヲ助ケント思フ心起リシニ依テ。忽チニ佛ノ慈悲心。道隆ガ身ニ入リシナリ。吁。コレ道隆ガ。圖ラズ此功德ヲ得タルコソ。誠ニ聞法ノ幸慶ナルモノナリ。然ルヲ其門ノ愚子等。此日蓮ノ助命ヲ計ラヒシヲ慢ス。此邪魔天魔ノ明証ナリト御物語アリケル。其時吾等問ヒ奉リテ云。夫真言ノ亡國タル。律宗ノ國賊タル。大旨ハ覺知スレモ。愚俗ヘ手近キ諭シヲ承リタシト申ケル。高祖云。真言ハ全ク亡國ノ邪法ナルコトハ。諸書ニ述ルガ如シ。近ク云ハ。弘法ト云ヘル邪僧ハ。モト之レ嫉妬ノ深キヨリ。密法ヲ開キシ也。先ツ其一ニ云ヘハ。雨乞ノ遺恨ヨリ。密法ヲ以テ。守敏ヲ祈リ殺シ。寡婦ノ施

シセザルヲ憤テ。芋ヲ石トスルノ類。皆コレ嫉妬ノ邪念ヨリ祈シモノ也。此故ニ。弘法ハ死シテ。魂魄惡鬼トナリテ。高野ニ止レリ。此故ニ。一度四國ノ地ヲ踏モノ。必ス無間ニ墮スルナリ。又律宗ノ如キハ。賊法タルコト。眼前ニ知ルベシ。外ニ諸宗ニ勝レテ。持戒持律ノ形ヲ顯シ。内ニハ酒肉ヲ好ミ。五辛ヲ食シ。女犯シ。而シテ慚愧ノ色ナク。神明佛陀ノ冥慮ヲ顧ミス。僞テ人ヲ訛シ歸依セシメ。請テ衆人ノ施物ヲ貪ラントハ。是レ賊ナラズシテ何ソヤ。此レ佛法中ノ大賊也トノ玉ケル。誠ナル哉。

○祈禱奧儀章(此章ハ。病ヲ祈禱スルニハ。先我ヨリ之ヲ病シメテ。後ニ其求メニ應スヘキコトヲ示ス)

或時。高祖。吾等ノ密法口訣皆傳ノ。法子ヲ召テノ玉ヒケルハ。今我室内ニテ。一券ノ密書紛失セリ。汝等尋テテ出ス可シト。



此時吾等。一同ニ立チ騒ギ。此所彼所ヲ探リ求ムレドモ知レズ。互ニ唯朋友ヲ疑フノミ。皆顔色ヲ失フテ茫然タリ。時ニ高祖。神佛ヲ祈テ是ヲ出セカシト。故ニ衆侶。皆心ヲ勵マシテ誦經シ。唱題目スルコト一時程ナリ。然レドモ遺失ノ書出テス。子等。皆痛心スルノミ。此時高祖笑テ云。汝等心ヲ痛ムルヲ勿レ。是ハコレ。吾レ汝等ニ。祈禱ノ奧秘ヲ傳ヘンガ爲ニ隱セシナリトテ。坐シ玉ヘル疊ノ下ヨリ出シテ云。汝等ノ力ニ尋テ求メント欲シテ祈ルモ。隱シタル吾ナラズンハ。明ニ知ルヘカラス。是ニテ可考。今世人ノ病ヲ祈ランニモ。我方ヨリ結ヒシ法ニテ病メル病ハ。難病ト雖モ治セズト云フヲ無シ。是ソノ結ビシ法ヲ解ク故ナリ。祈ヲ爲ント欲セバ。豫メ人ノ心ニ氣付ザル先ニ。法ヲ結ビ。次第ニ煩ハシメ。來リテ法救ヲ乞ヒ

シ。其法ヲ戻シテ祈ラハ。驗アラズト云フヲナシ。是自ラ隠セシ物ヲ。自ラ出スガ如クナル故ナリ。抑此法ハ。吾遊學ノ硯。京。吉田大祀兼益門人阿部一ニヨリ。神道第一ノ奧秘也トテ。授與セラレシ也。是故ニ。祈禱ヲ事トセバ。先煩ハシメンヲ先トスベシ。自然ニ出タル病ハ。自然ニ非ザレバ治セズ。宿報ノ病ハ。又治スルノ期有ベカラス。此理ヲ知ラズンバ。祈禱ノ譽ヲ顯スヲ成リ難シ。此レ祈禱ノ法ニ於テ。秘中ノ秘。密中ノ密トスル所也。深ク可秘。昔年豆州伊東ニ配セラレシ時。ソノ地ノ人民。吾ヲ賤ンテ信セズ。故ニ吾謀リテ。伊東庄司朝高ヲ病マシム。時ニ諸醫手ヲ尽スト雖モ功ナシ。諸宗ノ愚僧。山伏。坐頭等。祈ヲナスト雖モ。其驗ナク。病日ヲ追テ重シ。此時ニ至リ。吾ニ妙法ノ法救ヲ乞フ。吾云。汝等疾ク自餘ノ邪ヲ除キ捨テ。吾



門下トナヲハ。必ス是ヲ教フヘシト諭シケルニ。朝高。速ニ宗ヲ改メテ。吾ニ隨喜ス。此ニ於テ吾法ヲ解キ。念持スルニ。沈痼拭フガ如ク立處ニ快シ。此時ニ。一邑責ズシテ降り。勸メズシテ歸シ。里人皆門下トナル。此ニ寺ヲ遺ル。今海上山佛光寺是ナリ。吁呼是レ一人ヲ煩ハシメテ。一邑ヲ助ク。一度病シメテ。一生ヲ教フ。始メハ不仁ニ似タレ。邪宗垢穢ヲ出シテ。妙法ノ清水ニ注カシム。其是ナラズヤ。トノ玉ヒケル。實ニ祈禱ノ奧儀コ、ニアリ。後世當山貫長タルモノ心得ヘキ也。可レ秘。

○教相分別章（此章ハ佐渡配流ノ前後ニ依テ）  
（教相ニ權實ノ差アルヲ述ブ）

或時。駿河三澤氏。某。高祖ニ問テ云。昔年承リシ御説ト。當今承ル御説ト。一致ナラズ聞ユル所アリ。其故ハ。先ニ讚嘆シ玉ヒ。後ニハ又破シ玉ヒシ有リ。始ニ破シテ。終リニ讚シ玉フ御説

アリ。紛々トシテ其理悟リ難シ。願クハ。其理ヲ分明ニ了知スルノ御説ヲ承ント願ヒケリ。高祖云。吾門ノ所説ニ於テ。佐渡以後ト。佐渡以前ト。大同小異アリ。佐渡以前ヲ方便門トシ。佐渡以後ヲ眞實門トス。然レ。口決相傳等ノ奧儀ニ於テ。前後ノ不同アルヲナシ。然レ。衆ニ對シテ説ク所ハ。前ニハ讚シテ後ニハ破シ。或ハ始ニ破シテ。終ニ讚スルヲアリ。是唯顯ト密ト也。故ニ時ニヨリテ相違ス。是則佛經也。大乘小乘。顯教密教ノ方便ヲ説キ。門下ニ連ナル法子トナルモノニハ。大乘方便ヲ説キ。密法教皆傳ノ上ニ至テハ。大乘眞實ヲ説ク。佛ノ大乘小乗ト。其説相違ト雖。其理又同シ。コレ吾門一家ノ法則也。後世ニ至ルマテ。之ヲ模範トス可シト遺訓マシケル。

○終焉實記章（此章ハ宗祖臨終ノ實況ヲ述ブ）



凡夫凡聖共ニ。遁レ難キハ無常。免レ難キハ宿世ノ業因也。吾祖日蓮大聖人ハ。天下第一ノ智人。一州無二ノ賢聖ニテ在マスト雖<sub>レ</sub>。業報ハ免ル、<sub>レ</sub>不能。弘保五壬午歲初秋一日。沐浴盥嗽シ。旭日ニ向ヒ禮拜シ玉フキ。忽然トシテ瞑々シ。血ヲ吐コト舛許ニシテ氣絶シ玉フ。衆皆驚キ介抱シ奉ルニ。須臾ニシテ蘇生シ玉フト雖<sub>レ</sub>。是ヨリ眩暈ノ病ト成玉ヒ。諸子悲歎シテ。加持祈禱ノ手ヲ尽ス<sub>レ</sub>。喻ルニ物ナシ。然レ<sub>レ</sub>其驗ナク。遂ニ中風トナリ。身体不隨。更ニ自由ヲ不得。時ニ比企ノ大學熊<sub>(能一ニ)</sub>本池上村ノ主。大夫宗長等。晝夜床ニ陪<sub>レ</sub>。看病シ奉レ<sub>レ</sub>。病日々重リ。苦惱夜々甚シ。衆泣テ言ク。此地ニハ醫乏シク。鎌倉ハ都會ナリ。名醫モ亦少カラズ。往テ國手ニ就テ可ナラン乎。諸子一同ニ勸メ奉リシニ。高祖曰。否。先年彼地ノ姦賊。我ヲ

罵テ云。諸宗諸法ヲ誹謗スルモノ。爭テカ一生ヲ全フセンヤト云ヒキ。然ルニ今此難病ヲ受テ如是ハ。是レ宿業ノ病ナリト雖<sub>レ</sub>。愚者ハ此理ヲ知ラサルカ故ニ。我此体ヲ見ハ。誹謗シ罵詈セン<sub>レ</sub>。必定也。此故ニ。彼等ニ面ヲサラス<sub>レ</sub>。欲セズ。先ツ池上村ニ至リ。養病全快シ。鎌倉ニ至ラント思ヘリ。宗長宜シク之ヲ謀レトノ玉フ。宗長大ニ喜ヒ。波木井某ノ男ト共ニ供養シテ。九月八日。此地ヲ發駕シ。十八日池上村ニ着ス。翌十九日裁書ヲ以テ。波木井氏ニ謝シ玉ヒ。即日常州ノ温泉ニ趣キ玉フ。有人告テ云。下野國鹽原ノ温泉ハ。最モ中風ニ善キト。高祖聞<sub>レ</sub>之。喜テ又此温泉ニ至リ玉ヒ。浴スル<sub>レ</sub>。三日。更ニ無<sub>レ</sub>驗。歸路宇都宮ニ宿リ。廿七日池上ニ歸着シ玉フニ。イヨ<sub>ク</sub>重ク。苦痛前日ニ倍セリ。門下ノ道俗。或ハ悲嘆シ。或ハ懼レテ云。



他宗ノ衰賊。吾高祖ヲ嫉ムト甚シ。今コノ難病ニ苦ミ玉フコト。全ク他宗ノ咒咀也ト。或ハ怒リ。或ハ恨ミ。涕泣シテ止ズ。吾等之ヲ押ヘテ。高ク云フト勿レト制スレドモ。門下ノ俗ハ悲嘆ノ餘リ。一々是ヲ云フモノアリ。是最モ可レ秘コト也。經ニ咒咀ニ於テ本人ノ語アレバ。他咒咀ト云ハ。却テ高祖ノ德ヲ低クスルナリ。語ル可カラズ。斯クテ十月三日。少シク苦痛ノ暇ニ。讓リ狀ヲ書シ玉ヒ。安國論ト。赦牒二通。伊豆佐渡流利免狀併セテ。日朗ニ附與ス。八日又我等ヲ召シ。當山法門ノ上首タル旨ヲ命シ。諸宗折伏ノ口傳。妙法秘術ノ秘卷。六字ノ口傳書等。悉ク授與。又元人ト往復ノ書翰ハ。深ク地中ニ埋ムヘキノ義ヲ命シ給ヒ。又全躰ハ瓶ニ収メテ。身延ニ安置スヘキノ旨ヲ命シ。吾等六子。輪次ニ奉事スヘキノ旨ヲ定メ玉ヒ。同十日苦痛ノ暇ニ。諸

子ヲ召テ。遺物ヲ頒チ與ヘ玉フ。此日ヨリ病惱又日頃ニ倍シ。一日ニ三四次。惚身如燃。煩悶シテ惱乱シ玉フ。枕頭ニ置キ玉フ。經卷ヲ撮テ嚼ミ玉フニ。玉齒二枚。軸ニ付テ落ツ。是ヲ内付ノ御齒ト稱シ。今池上村ニ藏ス。經卷ヲ齒形ノ御經ト名ケテ。今日則秘藏トス。見ル者悲歎セスト云フトナシ。茲ニ十二日。密ニ吾等ニ云テ曰。我コノ間數度ノ吐血ニ。心神大ニ疲ル。壽命亦久シカルヘカラス。故ニ密ニ汝等ニ。我本懷ヲ語ラント仰セラレテ曰。吾旃多羅ノ家ニ生ル。ト雖モ。幼クシテ大志ヲ企テ。一度天下ヲ掌握センコトヲ誓シカレ。當時鎌倉ノ威盛ニシテ。志望必ス遂ケ難キコトヲ知リ。法体シテ名ヲ萬天ニ掲ケ。譽ヲ後代ニ顯サント覺悟シテ。此一宗ヲ開キシ也。故ニ諸宗ノ愚祖トハ。其本懷大ニ異ナリ。是故ニ。我門ノ法子。奧秘ノ傳ヲ受ケ。他ニ洩ストアラハ。吾コノ怨念。必其身ヲ挫クヘ



シトノ玉ヒツ、又苦痛ニ侵サレ遂ニ御息絶サセ玉ヒ終リ  
ヌ。悲ムベシ。吁呼。吾等如此苦痛ノ御息ノ下ニモ。堅ク遺戒シ  
玉フ一宗ノ大事也。可秘可秘。誤テ他ニ洩スヲアラハ。必高祖  
ノ御罰ヲ蒙ルヘキモノナリ。是故ニ吾等書記シテ後代當山  
ノ貫主ニ附ス。故ニ文拙キヲ不改。時代ノ前後ニ拘ハラヌ。思  
ヒ出ルニ任セテ。順次ニ筆ヲ取リテ記スノミ。夢々他見ヲ許  
スヘカラス。又他ニ語ルヘカラス。唯能秘焉能秘焉。

日照 花押

日朗 花押

日與 花押

弘安五年壬午季冬書身延山廟堂之燈下

日向 花押

日頂 花押  
日持 花押

校訂 大聖日蓮深秘録終



右此一部ノ書考ハ。日照聖人。日朗聖人等ノ御筆ニシテ。身延山第一ノ秘書ナリ。日常上人御定トシテ。其主タリト雖也。六十歳未滿ノ内ハ。拜見ヲ許サザルモノ也。然ル處十一代日朗上人ノ御代。山内御評議ノ上。萬々一紛失等モ有之節ノ爲メ。明應八年八月。別ニ一部ヲ書寫シ給フ。然ル處智積院日廣上人。又密ニ此ヲ寫シ給フ。是ニ依テコノ日廣上人ハ。師匠ノ勘氣ヲ承ケ。擧出セラレ給フ。其時コノ一部ヲ持テ。岩本實相寺ニ隠レ給フ。此時身延山ヨリ。御末山へ密々御頼ニテ。若コノ深密傳見當リ候ハ。早ク取上可申。若他宗ノ手ニ有之候ハ。ヨク謀ヲ廻シ。是ヲ取戻スヘシ。止事ヲ得ズンバ。其持主ヲ伐ツテ取上ベシ。又他ニテ此書ヲ見テ。悉ク知ル者アラバ。此書ハ全ク高祖ノ實傳ニアラスト。急度答へ可申段。御頼

ニアリシ事也。委細ハ本山ノ記  
録ニ在ル事也然處。愚僧遊覽ノ砌。實相寺ニ於テ寫之者也。

天正五年丁丑五月十三日 光長寺 日 長 花押

右光長寺ニ有之候所故アリテ小子又寫之者也

寛政九年丙巳正月 日 本光院 一本光寺 日 通 花押

遊學中右本一本光寺光院ニ於テ謹書寫畢

嘉永三庚戌年二月初七日 〇沙門 墨ニテ  
シテアリ無垢孝 一本ニ此十三字ナシ

駿河國賤機山に戸守りしける。安政五年。馬場の町。安雨寺時の主たり。のり得て寫しぬ。花の頃漸く終りにけり。あまりに



めつらかに思へは。一卷は東都に遣して。賢聖の方々にも照覽に備へたくて。又筆をとりしは。夏のはしめなり。

無垢孝 花押

右賤機山無垢孝に求めして寫畢

安政五戊午二月 日

三塞菴眞隱紙

干時元治紀年甲子晚夏中浣寫之畢

大寶院

此頃新宮高年翁。或人の許より借得たる。延嶺狐顯記と表題せる一卷を。予に貸ければ。一むたり抜き見るに。神敵た

る日蓮か。弟子の所謂六老僧か。日蓮の出生より。死去までの事。又常の言行をも。つはらかに記せし物にて。彼れか流れを汲む輩の爲には。やごとなき書ならめども。神を賤しめ。皇をなみし。國をけがす。甚も忌々しき悪言のまにて。見捨むたき事のみなれば。同志の人々にも。見せまはしくて。窃に寫しぬ。原本誤字多し。今さかしらにて。改定して。本のまゝ模寫して。墨にて聊の校合せり。あはれ。のゝる秘書の。世の中に出て。吾輩の目にもふるゝは。やがて神の御心御慮にて。彼宗の水の泡となかれむこと。基にころあらめ。かく云ふは。慶應の二とせといふ四月の始つかた。

大井 菅 磨



明治廿七年一月十一日印刷  
同 年同月廿二日發行

豐前國下毛郡中津町字二ノ丁第千三百十番地

校訂者 湯 谷 基 守

同國同郡同町字古魚町第九百九番地

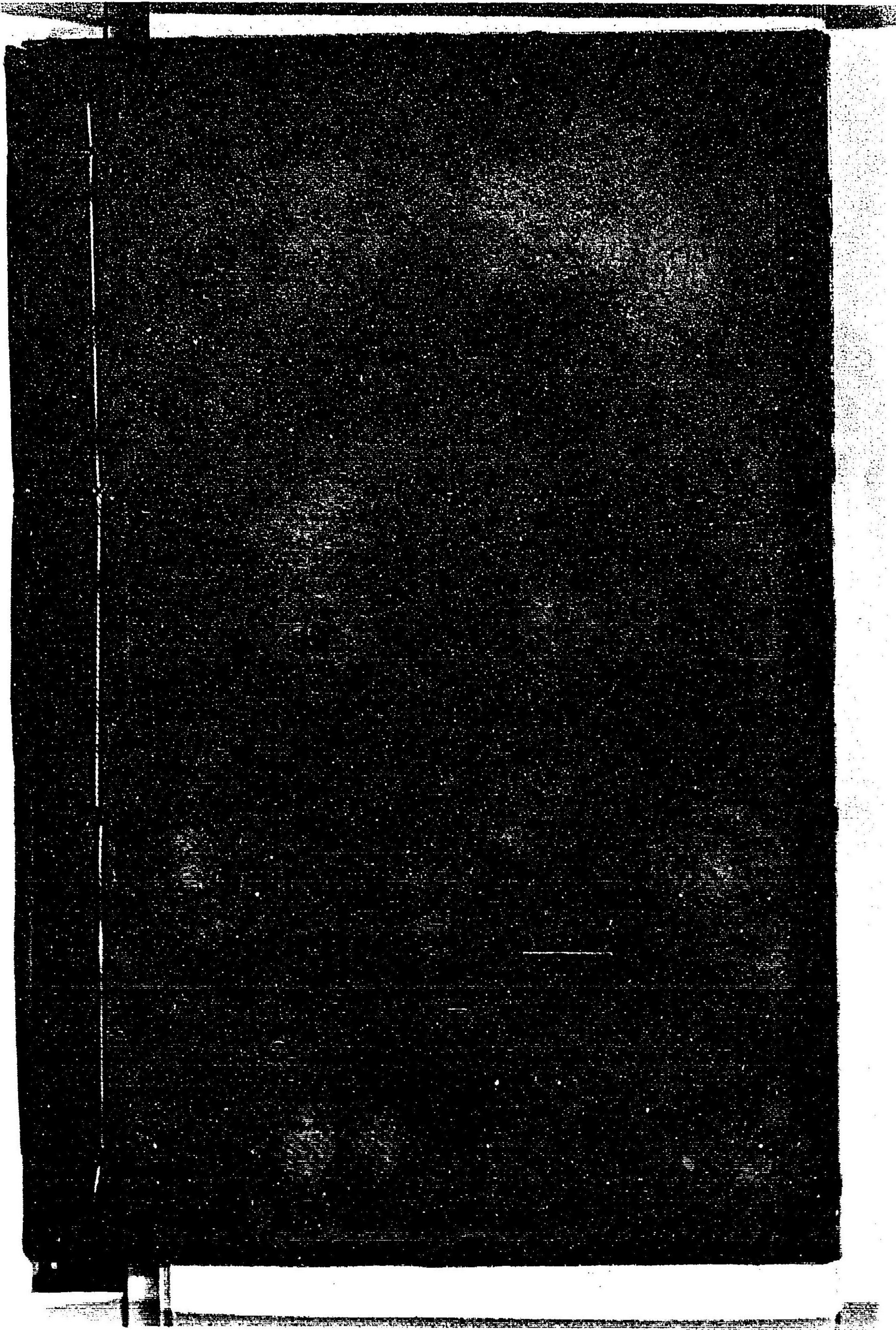
發行者 諏 訪 音 吉

同國上毛郡八屋町大字八屋第千四百六拾二番地

印刷者 吉 松 儀 太 郎

(定價金拾壹錢)







特36  
816

019999-000-3

特36-816

大聖日蓮深秘録

湯谷 基守/校

M27.1

ABH-0163

